

「第3回 札幌ドームこども絵画展2013」入賞作品 (入選は除く)

札幌ドームの「会社情報・CSR」についての最新情報は
下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

札幌ドームウェブサイトに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

株式会社 札幌ドーム

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011
発行:2014年6月 ※2014年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。



インクは植物油インクを使用しています。



CARBON OFFSET

この報告書は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しております。



札幌ドーム

札幌ドーム
CSRレポート 2014
SAPPORO DOME Co.,Ltd. CSR REPORT





お読みいただく皆さまへ [編集方針]

株式会社札幌ドームは、2008年に初めて「環境への取り組み」を中心とした年次報告書を発行いたしました。札幌ドーム開業10周年を迎えました2011年からは、「CSRレポート」として当社の取り組みについてご報告させていただいております。本年につきましても、当社にとってのすべてのお客さま(=ステークホルダー)に、CSRに対する当社の考え方や事業活動をご理解いただく重要なコミュニケーションツールとして「札幌ドームCSRレポート2014」を発行いたします。

本レポートをお読みいただく皆さまに、できるだけわかりやすくお伝えするため、図表や写真を多く用いるとともに、親しみを持っていただけるよう札幌の街並みや札幌ドームを訪れてくださる皆さまのイラストをレイアウトいたしました。

CSRレポートとしての内容は、まだまだ不足している点もありますが、本レポートの発行を今後のさらなるCSRの推進につなげていきたいと考えておりますので、皆さまからの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社 **札幌ドーム**

CONTENTS [目次]

TOPメッセージ 3

札幌ドームのCSR 5

巻頭TOPIC
「オンラインリサーチ」を実施いたしました 7

すべてのお客さまのために

●すべてのお客さまの安全と安心のために 9

●最高の舞台であるために 13

●より楽しく、より快適にご利用いただくために 17

●お客さまの声をかたに 23

地域社会とともに

●地域とともに成長するために 25

公正に事業を推進するために

●信頼される企業であるために 29

社員とともに

●誇りに思える職場であるために 31

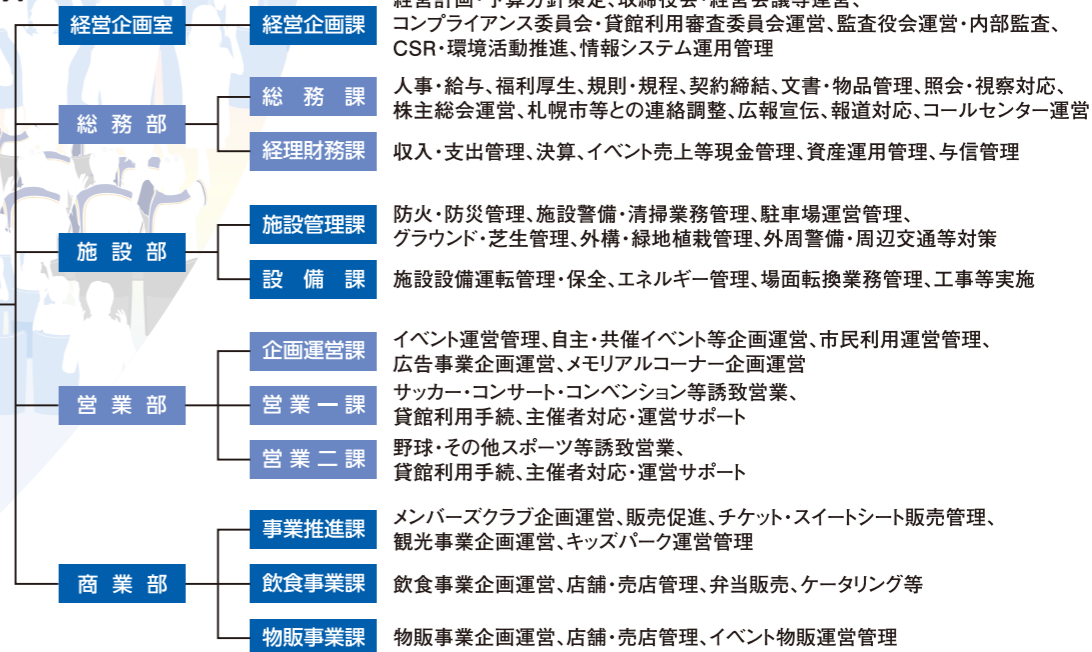
環境にやさしい施設を目指して

●環境にやさしい施設であるために 33

資料 41



●組織図および業務分掌



●私たちの事業活動

- 施設設備の維持管理
施設設備の適切な維持管理を行うとともに、必要な施設改良等の工事を行っています。
- 貸館事業
アリーナ等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポートを行っています。
- 広告事業
ドーム内の広告看板等の販売管理を行っています。
- 駐車場・チケット事業
ドーム駐車場の管理運営やイベントチケットの販売管理を行っています。
- 飲食・物販事業
ドーム内のレストランや売店など飲食・物販の管理運営を行っています。
- 観光・市民利用事業
ドーム展望台・見学ツアーの運営や草野球等の一般市民利用管理を行っています。
- 市民還元・社会貢献
招待事業や自主・共催イベント開催等を通じて、市民還元・社会貢献に努めています。
- 環境への取り組み
環境にやさしい施設を目指して、よりよい環境づくりに取り組んでいます。

報告対象期間
本レポートでの報告は、2013年度(2013年4月1日~2014年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについてご紹介しています。

ウェブサイトの掲載
本レポートは、ウェブサイト上におきましても閲覧いただけるようPDFを掲載しています。また、札幌ドームウェブサイトに、札幌ドームのCSR活動および本レポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。
<http://www.sapporo-dome.co.jp>

発行時期
2008年より年次報告として毎年発行しています。
・2008年6月 札幌ドームECO MOTION
ひとりひとりがエコプレイヤー
・2009年6月 環境報告書
・2010年6月 社会・環境報告書
・2011年6月 CSRレポート2011
・2012年6月 CSRレポート2012
・2013年6月 CSRレポート2013
・2014年6月 CSRレポート2014



企業の社会的責任を果たし、 人々に夢と希望を、街に活気をもたらす舞台を用意します

本年3月、当社は札幌市の指定管理者制度における3度目の指定手続きを経て、今後4年間の札幌ドームの指定管理者として正式に指定を受けました。

昨年行われました札幌市の指定管理者選定委員会では、当社のこれまでの管理運営実績、安定した財務状況、良好な労働環境の整備に加え、今後の諸課題に対する適切な提案がなされていることから、すべての利用者に対して公正中立な対応ができる団体であるとのご判断をいただき、総合的に非常に高い評価を得ることができました。これもひとえに、日頃から当社を支えていただいておりますすべてのステークホルダーの皆さまのご指導とお力添えの賜物であると心より感謝申し上げます。

すでに4月からは新たな指定期間に入っておりますが、公の施設であります札幌ドームの指定管理者として改めてその責務の大きさを認識し、これまで以上に誠実かつ着実な業務を遂行していく所存であります。

振り返りますと、2013年は、「コンサドーレ札幌」「北海道日本ハムファイターズ」の公式戦のほか、4年ぶりの「プロ野球オールスターゲーム」や2年ぶり2回目となった「札幌モーターショー」などの開催に加え、コンサートにつきましては「AKB48」や「東方神起」などの札幌ドーム初開催のアーティストを含め過去最高の10日間の開催がありました。自主・共催イベントでは開催3回目となる

「6時間リレーマラソン」や「体験型謎解きゲーム」といった初めてのイベントも開催いたしました。

その結果、稼働率は前年を上回り開業以来2番目に高い74.2%となり、年間の総来場者数は278万人となりました。ご利用いただきました主催者さまとご来場いただきました皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

また、2013年は食品のメニュー誤表示が大きな社会問題となりました。当社におきましても、札幌ドーム内で販売する弁当などの3商品について商品名表示に不備があったことが判明いたしました。購入されたお客さまと関係者の皆さまにはご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことが起きないように再発防止を徹底してまいります。

私たちの使命は、こうしたコンプライアンスの問題をはじめとした企業の社会的責任をしっかりと果たしたうえで、スポーツやエンターテインメントが人々に夢と希望を、街に活気をもたらす舞台を用意し、お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続けていくことと考えています。

今後とも、市民道民の皆さまをはじめとするすべてのお客さまの声をしっかりと聞きし、さらなるご期待に応えられるよう社員一同総力を結集して邁進してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長沼 修



[開業20周年に向けて、ありがたい姿]

長期ビジョン「SAPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」

新たな価値と感動を創造し続ける企業へ

社員一人ひとりが成長し続けることで、お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続け、市民道民の皆さまに喜ばれ、地域社会から信頼される企業を目指す

2021年、開業20周年へ

単に設備を新しくするだけではなく、 ホスピタリティがあってこそのお客さま満足の向上を目指します

札幌ドームは、開業から本年度で14年目を迎え、これまでに累計で3,300万人を超えるお客さまをお迎えしてまいりました。これもひとえに多くの皆さまのお力添えの賜物であると心より御礼申し上げます。

私たちは昨年、開業20周年を迎える2021年を目標年度とする長期ビジョン「SAPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」を策定し、経営目標として“売上高40億円超”を掲げています。

この「SV-21」の実現に向けた取り組みの一つとして、本年3月にはグッズショップ「グッズ☆ジャム」の拡張リニューアルオープンをいたしました。施設の経年劣化に伴う修繕や設備更新はもちろん重要な課題ではありますが、その責務を担うためにも、私たちはこうしたお客さま満足の向上と収益向上につながる設備投資にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

そして、現在は2015年3月に向けて、当社の費用負担による大型映像設備(大型ビジョン)の更新準備を進めています。更新にあたっては、現状の機能維持に止まらず、新たな設備や機能を付加し、大きく迫力のある映像を鮮明に表示できるようにすることで、ご来場の皆さまにはより多くの情報や楽しく快適な観戦環境を提供させていただく予定です。

しかしながら、単に設備を新しくするだけでは、決してお客さまに喜んでいただくことはできません。お客さまに対する「ホスピタリティ」の心があってはじめて、新しい設備の良さや機能を存分に発揮することができ、心からのご満足をいただけるのだと思います。

札幌ドームは、これまで多くの皆さまに支えられてまいりました。2021年の開業20周年に向けて、今後もさらなるホスピタリティの向上を目指し、すべてのお客さまにとって最高のドームであり続けられるよう邁進してまいりますので、何卒よろしく御礼申し上げます。

代表取締役専務

島津 貴昭



私たちはエンターテインメントビジネスを通して、 常に最高のホスピタリティを追求し、 すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します

エンターテインメントビジネス: すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
ホスピタリティ: 思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人が心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
ステージ: 空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

【行動指針】Guiding Principles

— すべてはお客さまのために —

1. お客さまと意思を一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
2. お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでいただける環境をつくります
3. お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
4. 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
5. 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
6. 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
7. 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
8. 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
9. 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
10. 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

私たちにとってのCSR

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立した第3セクターでありますことから、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第1の使命であります。したがって、当社の事業活動の成果は広く市民や地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。

2013年3月、これまで3項目であった当社行動指針を「SV-21」実現に向けた新たな指針とすべく10項目からなる行動指針に改定しました。当初は、ISO26000における7つの中核課題や日本経団連「企業行動憲章」を参考に、「CSR基本方針」として定める予定でしたが、議論を進めるなかで当社にとってCSRを推進することこそが経営理念

の実現につながっていくことを改めて認識し、そのための具体的な行動指針として社内外に宣言することとしました。私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけでなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

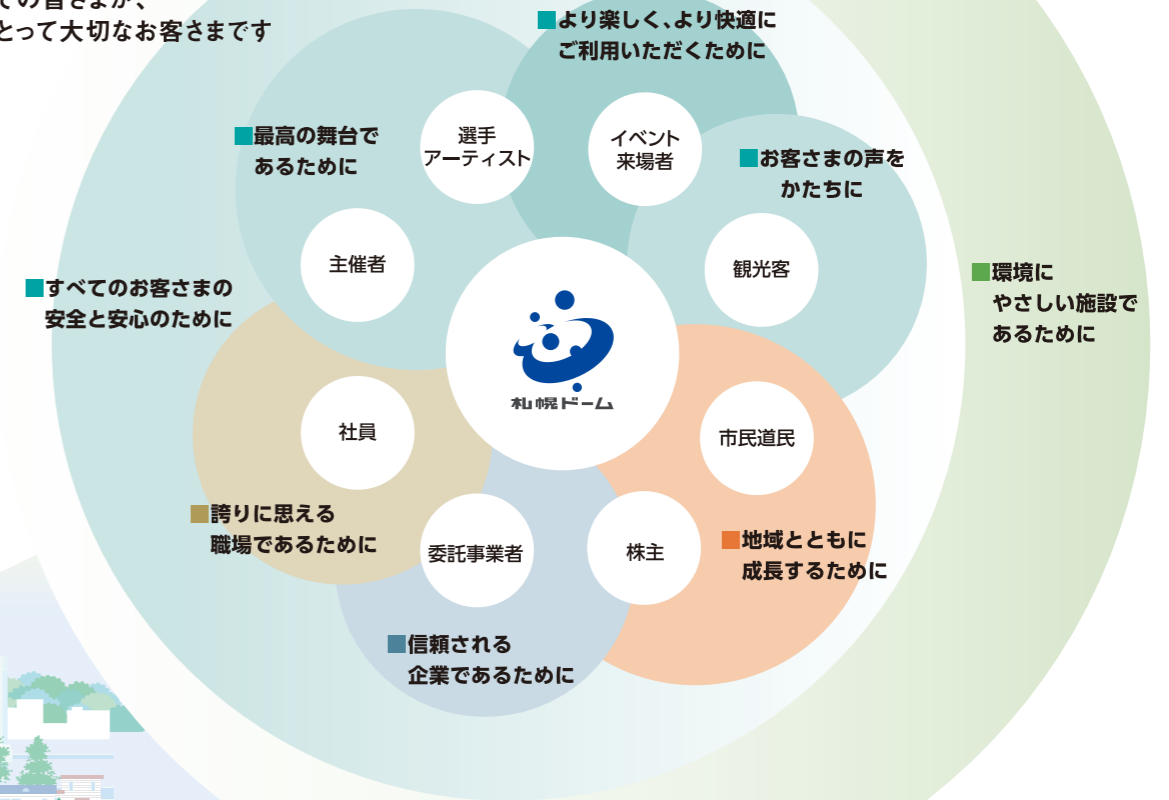
— 札幌ドーム条例 第1条 —
本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

私たちにとってのすべてのお客さま

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、
観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、
観光で訪れる皆さま、
札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、
札幌ドームのある街に暮らす皆さま、

そのすべての皆さまが、
私たちにとって大切なお客さまです

すべてのお客さま(=ステークホルダー)と
CSRへの取り組み課題のイメージ



CSRへの取り組み課題と「中期経営計画2015」における重点施策

当社は、CSR経営を推進するため、行動指針に基づき、「すべてのお客さまの安全と安心のために」「最高の舞台であるために」「より楽しく、より快適にご利用いただくために」「お客さまの声をかたちに」「地域とともに成長するために」「信頼される企業であるために」「誇りに

思える職場であるために」「環境にやさしい施設であるために」という8つのCSRへの取り組み課題(テーマ)を設定しています。2013年度からスタートした3ヶ年計画である「中期経営計画2015」においても、この取り組み課題に即したかたちで多くの重点施策を推進しております。

【消費者課題】

すべてのお客さまのために

- すべてのお客さまの安全と安心のために
 - 保全計画の確実な履行
 - 中期施設改良計画の策定
 - 危機管理マニュアル・防災教育の拡充
 - 安全衛生管理の徹底

最高の舞台であるために

- 両フランチャイズチームとの顧客満足向上・集客増のための連携強化
- 大型映像設備や天然芝更新計画の検討

より楽しく、より快適にご利用いただくために

- 店舗改装・メニュー変更や効果的な各種企画の実施
- 接客品質の向上
- 新たな市民利用等の検討

お客さまの声をかたちに

- 双方向コミュニケーションの強化
- 来場者ニーズの的確な把握と具現化

【コミュニティへの参画及びコミュニティの発展】

地域社会とともに

- 地域とともに成長するために
 - 新規コンベンション等の誘致強化
 - 地域社会貢献のさらなる充実

【組織統治・公正な事業慣行】

公正に事業を推進するために

- 信頼される企業であるために
 - 指定管理者制度における指定期間の確実な更新
 - 内部統制の一層の充実・強化

【労働慣行・人権】

社員とともに

- 誇りに思える職場であるために
 - 人事考課制度の強化と安定運用
 - 規程・ガイドライン等の再点検
 - 業務支援ツールの整備

【環境】

環境にやさしい施設を目指して

- 環境にやさしい施設であるために
 - 「ECO MOTION 2021」達成に向けた取り組みの推進
 - 環境対策設備の導入
 - 廃棄物の削減

モニターの皆さまにご意見をお聞かせいただく 「オンラインリサーチ」を実施いたしました

札幌ドームをお客さまにとってより安全・安心・快適にお過ごしいただける施設とするため、2013年度は、事前に募集したモニターの方々に全5回のインターネットアンケートを実施し、多くの具体的なご意見をお寄せいただきました。

※2012年度は、どなたでも回答できる無記名式・ご意見公開型のアンケートを実施いたしました。

モニター登録者130名さまの属性	
■性別	男性63名・女性67名
■居住地	札幌市内90名・北海道内36名・道外4名
■年齢層	10代3名・20代13名・30代27名 40代44名・50代32名・60代9名・70代2名

第1回 リサーチテーマ [回答者数:125名]

札幌ドームの施設・設備について



近年実施した施設・設備改善の評価や実施を検討している改善工事についてのご意見、大型映像設備の更新に向けて重視することなど。

近年実施した施設・設備改善で最も高く評価されたのは「洋式トイレの割合アップ」

「洋式トイレの割合アップ」は90名のモニターが実施を知っており、84名のモニターが「改善されてよかったと特に思う」と回答。そのほか、「外野スタンドの階段への手すり増設」「洋式トイレへの便座クリーナー設置」「コインロッカー新設」などが上位に。

今後優先的に取り組んでほしい改善工事は「飲食売店増設」がトップ

実施を検討している改善工事については、45名のモニターが「飲食売店増設」に優先的に取り組んでほしいと回答しました。そのほか、スタンド以外でもイベントが楽しめるようプロジェクターやテレビの改善・新設を求める声も上位を占めました。

第2回 リサーチテーマ [回答者数:113名]

札幌ドームの広報誌・ウェブサイトについて



広報誌やウェブサイトについてのご評価、今後内容の充実を求める項目、新たに公開したスマートフォンサイトについてのご意見・ご感想など。

広報誌の特別号で特に好評だったのは「選手インタビュー・ベストシーン」「グルメ情報」

広報誌「イベントニュース」2013年7・8月号(ページを増やした特別号)ではモニター54名が「選手インタビュー・ベストシーン」、45名が「グルメ情報」をそれぞれ良いと回答。「読み応えがあった」「定期的に発行してほしい」などの自由回答もありました。

新たに掲載を希望するのは「普段は入れない裏側やスタッフの仕事の紹介」がトップ

新たに掲載を検討している内容については、広報誌・ウェブサイトとも「普段は入れない裏側やスタッフの仕事の紹介」を求める声が多かった。ウェブサイトでは「飲食サービスの情報充実」「フランチイズチームの情報充実」などが上位を占めました。

第3回 リサーチテーマ [回答者数:115名]

飲食サービスについて



飲食サービスの取り組みについての評価、気に入っている飲食売店とその理由、サービス改善を求めること、新たに販売を希望する商品など。

飲食サービスの取り組みで最も高く評価されたのは「共通スタンプカード実施」

飲食サービスの取り組みについて、48名のモニターが「共通スタンプカード実施」を評価できると回答。このほか、「ソー系アルコールドリンクのスタンド販売開始」「量が控えめなお弁当「札幌ドームチョイ飯シリーズ」販売開始」が上位を占めました。

今後期待する飲食サービスは「お得なドリンク回数券や商品券の一般販売」がトップ

実施を検討している飲食サービスについては、71名のモニターが「お得なドリンク回数券や商品券の一般販売」を今後期待すると回答しました。そのほか、スタンドでの飲食販売の充実やデリバリーサービスを求める声など、さまざまな回答が寄せられました。

第4回 リサーチテーマ [回答者数:115名]

スタッフの対応について



スタッフの接客対応の満足度のほかスタッフについて印象に残っているエピソード、スタッフに求めるもの、接客対応のアイデアなど。

スタッフについての満足度は7割以上が「とても満足」または「満足」

札幌ドームで働くスタッフについて、7割以上のモニターが「とても満足」「満足」と回答した一方で、警備スタッフ、飲食販売スタッフ、グッズ販売スタッフなど、お客さまと接する機会が多いスタッフについて、それぞれ15名以上のモニターが「不満」「大いに不満」と回答しました。

札幌ドームのスタッフに求める対応は「臨機応変な対応」がトップ

札幌ドームで働くスタッフの対応について、51名のモニターが「臨機応変な対応」を求めると回答しました。このほか、「明るさ・活気」「笑顔」「誠意ある態度」「札幌ドームやイベントに関する知識」「手際の良さ」などが上位を占めました。

第5回 リサーチテーマ [回答者数:111名]

運営会社(株式会社札幌ドーム)について



当社の取り組みの認知度・評価、今後重視すべき取り組みや改善すべき点、オンラインリサーチ参加により当社への印象が変化したかどうかなど。

当社の取り組みで最も高く評価されたのは「施設・設備の維持保全」

80名以上のモニターが「施設・設備の維持保全」「施設・設備の改良」をそれぞれ「十分出来ている」「まあまあ出来ている」と回答。このほか、「以前より使いやすくなっている」「努力しているのを感じる」などの自由回答も寄せられました。

オンラインリサーチ参加の感想は「参加して良かった」「また参加したい」が大半

オンラインリサーチの参加について、大半のモニターが自由回答で「参加して良かった」「また参加したい」と回答。このほか、「いろいろな取り組みを知ることができた」「札幌ドームのことを考えるいい機会になった」などの感想も寄せられました。

「札幌ドームオンラインリサーチ」についての詳細は札幌ドームウェブサイトでご覧いただけます。

※施設・設備やサービスの改善事例は、P.24をご覧ください。

さまざまなかたちでお客さまの声を幅広くとらえ、改善につなげています

オンラインリサーチが新企画や接客向上につながりました

水戸 2013年度は前回のオンラインリサーチに対する改善点の評価など、多くの質問項目に回答いただくためモニターを募集し、より深くお聞きしました。回答率が高く、思っていた以上にたくさんのご協力をいただきました。皆さまそれぞれに札幌ドームへの愛があり、「だからこそこうしてほしい」というご意見が多かったですね。

関 「共通スタンプカード」も、オンラインリサーチでのご要望が多く、実施に踏み切りました。イベントにいらっしゃるお客さまのプラスアルファの楽しみや来場の動機につながる集客・販促施策の一環として始めました。実施にあたって一番考えたのは、ドーム内のどこでも使えて分かりやすいルールにすること。各店舗で声をかけていただくなど、積極的にアピールはしていただきましたが、まだまだ足りないとも思っています。2014年度は抽選だけでなく必ず当たるものも用意しようと、スタンプカードがいっぱいになると館内で100円券として使えるようにしました。これで、より札幌ドームを楽しんでいただければと思っています。



ご利用・お買い上げごとに集めたスタンプで賞品が当たる新企画は好評。

村山 私が担当している清掃や駐車場・周辺道路警備での接客などについても、オンラインリサーチの声を参考にしています。さらに、お客さま目線の



ご意見を知りたいと考え、昨年は調査会社による覆面調査も実施しました。結果をもとにフィードバック研修を行い、プロの講師から良い点や改善すべき点などを各委託事業者さまに聞いてもらい、接客向上に取り組みました。お客さまと最初に接する周辺道路の警備員や駐車場スタッフの対応は、札幌ドームの第一印象につながりますし、全スタッフを高いレベルで統一できるようにすることが今後の課題です。



お客さまの声は周辺道路の警備員や駐車場スタッフの接客向上にも役立っています。

お客さまのご意見に対する社内の意識がより高まってきています

水戸 2014年度もモニターアンケートを行います。昨年参加しているいろいろな意見を言えたうえにほかの人の意見も聞けて、札幌ドームをよく知るきっかけになったのでまた参加したいという声をいただき、すごくうれしく思いました。オンラインリサーチに参加して、いろいろな取り組みをしていることを知り、札幌ドームへの印象も良くなったようです。ただ、反省材料となるご意見も多くいただいたので、それを含めて今後に生かしたいと思います。

関 私自身も、お客さまからたくさん問い合わせのあるものについては、できる限りすぐに対応したいと思っています。小さなことや少数意見でも、共感できるものは検討していくことを忘れないようにしています。

水戸 お客さまのご意見で気づくことが多いという社内的な認識があり、大事にしていこうという雰囲気があります。オンラインリサーチでお客さまの声をまとめて聞けることで、注目する意識も高まったと思います。

村山 それは、委託事業者さまも同じですね。今回も前回もアンケート結果を共有し、ご意見を読んで改めて気を引き締めてもらっています。

水戸 清掃スタッフに対するお褒めの言葉もいただきましたよね。

村山 そうなんです。清掃は褒められることが少ないので、そういう声をいただいて、スタッフはすごくモチベーションがアップしたようです。お客さまのご意見には、私たちでは気がつかないこともありますから、今後もお客さまの声を皆で共有し、極力ご意見を取り入れて改善につなげていきたいと思っています。

左から 営業部 営業二課 兼 商業部 事業推進課 関 春香
施設部 施設管理課 村山 敬輔
総務部 総務課 水戸 美保子

お客さまのご要望を反映した情報発信に取り組んでいます

広報誌「イベントニュース」の内容充実を図り「特別号」として発行



2013年7・8月号はページを増やした特別号として発行。選手などへのインタビュー企画が特に好評でした。



2014年3・4月号は前回の特別号に対する評価をふまえて発行。今後もお客さまの声を反映した改善を図ります。

スマートフォンサイトを公開

専用サイトをつくってほしいというお客さまの声をもちに、イベント情報や各施設の営業予定、座席位置などを快適にご覧いただけるスマートフォンサイトを2013年7月に公開。多くのお客さまにご利用いただいております。



すべてのお客さまの安全と安心のために

すべてのお客さまにとって、安全が当たり前であること、常に安心して札幌ドームを楽しんでいただくことを何よりも大切にしています。



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために… P.10
 東日本大震災を教訓に、防災体制の強化を図っています… P.11
 大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化… P.12
 4万人のお客さまの「食」の安全を守ります… P.12



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために

市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくために、施設設備の維持保全に努めているほか、来場者サービス向上や安全対策を目的とした改良工事等を行っています。

施設設備の維持保全

施設所有者である札幌市と連携しながら、施設設備の維持保全や改良工事などを適切に進めています。お客さまの安全を最優先として、日頃より施設設備の点検を実施しているほか、設備の耐久年数や使用頻度などを考慮して必要な修繕、設備更新を行うことで、維持保全に努めています。また、清潔で気持ちの良い空間を提供するとともに適切な維持保全を図るため、毎日の清掃に加えて、手の届きにくい箇所や細部の特別清掃も実施。私たちは、市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来に引き継いでいくことも重要な使命だと考えています。

維持保全に関する主な項目

- 機器の修繕や更新
- 設備の補修工事等
- 敷地内の補修等
- 清掃および清掃に関する機器の修繕や更新



● B1階-3階手すりガラス清掃



● 展望台ガラス清掃



● 展望台内向き金属パネル部除塵清掃

[2013年度の主な特別清掃実施項目]

- ワックス塗布 ● B2階諸室床面剥離洗浄
 ● B2階1層・3層ブルベン内階段洗浄
 ガラス ● 展望台ガラス清掃
 ● 3階キッズパーク上部ガラス清掃
 ● 2階コンコース外周ガラス清掃
 ● B1階-3階手すりガラス清掃
 その他 ● ロケット風船除去
 ● 展望台絨毯クリーニング
 ● 1階コンコース大階段大型サイン看板除塵清掃
 ● ボウブリッジケーブルカー清掃
 ● 展望台内向き金属パネル部除塵清掃



● 1階コンコース大階段大型サイン看板除塵清掃



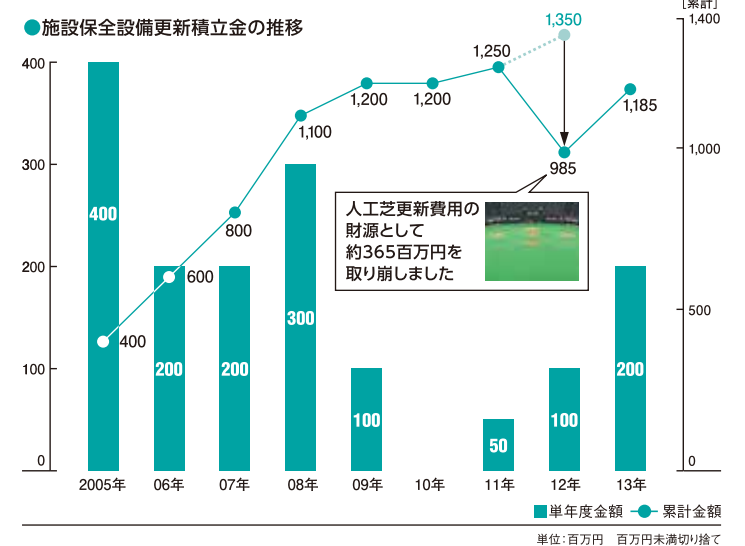
● ボウブリッジケーブルカー清掃

中長期的な維持保全に備え任意積立金を積み立てています

2015年3月までに更新を予定している大型映像設備など、中長期的に必要な大規模な設備更新・維持保全に備え、利益の多くを「施設保全設備更新積立金」(任意積立金)として積み立てています。

[2013年度の主な修繕・設備更新]

- 建築付帯設備 ● 外部扉塗装補修 ● 人工地盤目地改良
 電気設備 ● 電話交換機設備更新
 ● アリーナ音響調整卓更新
 機械設備 ● 空調配管設備更新 ● 消防設備バッテリー等部品交換
 ● エレベーター部品交換
 ● 衛生設備加圧給水ポンプオーバーホール
 ● 高圧蒸気ヘッダー更新 ● 吸気式冷凍機部品交換
 ● 飲食売店・喫煙室排気ダクト清掃



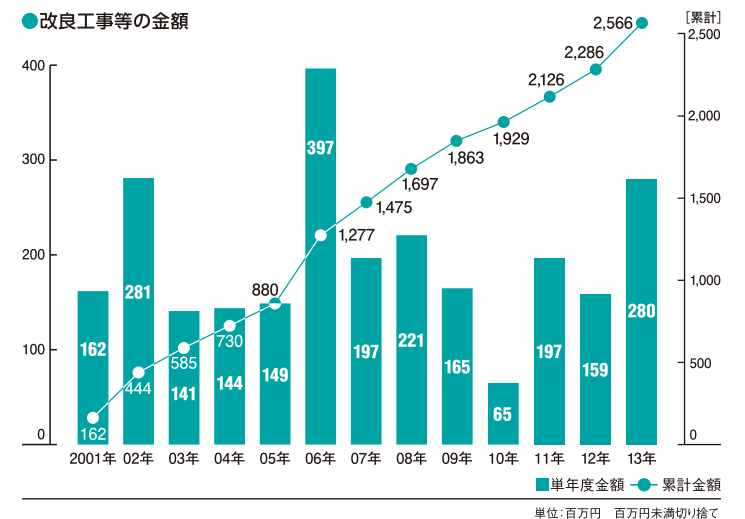
施設設備の改良工事等

お客さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施しています。

[2013年度の主な改良工事等]

- 来場者サービス ● グッズ店舗拡張 ● トイレ一部洋式化
 ● 飲食売店改修 ● 北ゲート前法面植栽
 ● トイレ内着替え台・せっけんディスペンサー設置
 ● トレーニングルーム床材改修
 主催者サービス ● 1階コンコースインフォメーションボード設置
 ● 館内光回線整備 ● 諸室備品・貸出用備品購入
 安全対策 ● シャトルバス乗降所等屋外照明増強
 ● 飲食売店・パントリー給水栓改良
 ● トイレ内炎センサー設置 ● 清田口付近園路移設・拡幅
 ● 福住薬園通歩道ガードレール設置
 環境対策 ● 小型貨物電気自動車導入

※お客さまからのご要望による改善事例は、P.24をご覧ください。



東日本大震災を教訓に、防災体制の強化を図っています

東日本大震災を教訓として地震対策強化のためのシステムを導入するなど、防災体制の強化に取り組むとともに、関係機関と連携した訓練を実施して万が一の事態に備えています。

防災体制

地震発生時の迅速な対応のために専用の地震監視警報システムを導入

東日本大震災を教訓に、より万全な大規模地震対策を検討し、お客さまの安全確保や避難誘導に役立つ地震監視警報システムを2012年3月に導入。気象庁の緊急地震速報とともに、札幌ドーム内に設置した地震計がP波*をとらえ警報を発信。数秒の猶予時間でも大きな揺れに備えられるため、被害の軽減が期待されます。

*P波:地震発生時に最初に伝わる小さな揺れ。この後、主要動と呼ばれる大きな揺れが発生させるS波が到達します。

防火・防災に関する講習を社員が受講 必要な知識と意識を高めています

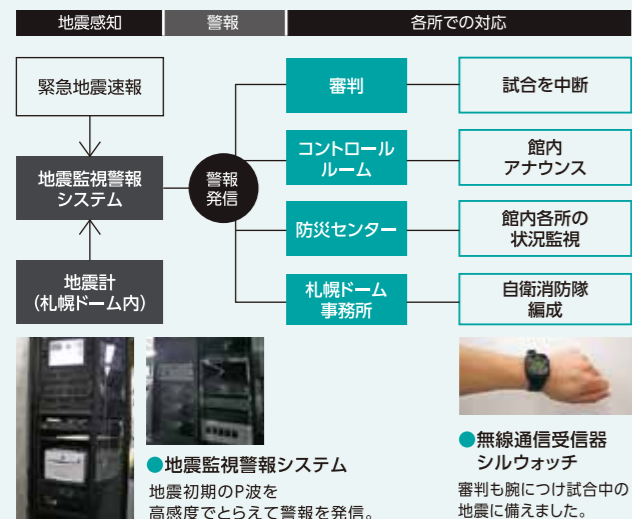
2013年度は、甲種防火管理・防災管理新規講習を2名が受講。防火・防災管理上必要な知識を社員一人ひとりが身に付け、防災意識を高めています。



プロ野球開催時を想定した、総合防災訓練を実施しました

消防法に基づく消防計画を作成し、防火・防災管理委員会を設置しているほか、火災発生を想定した防火訓練、大規模地震を想定した総合防災訓練などを行っています。2013年度は、北海道日本ハムファイターズさま、委託事業者さまなどと協議のうえ、総合防災訓練を2回実施。同じ想定で繰り返し訓練を行うことで習熟度を上げるとともに、改善を進めています。

●地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制(イメージ図)



総合防災訓練の概要

訓練想定:
プロ野球試合日(来場者35,000人)にマグニチュード7.3
震度5強の大規模地震が発生したと想定

地震警報の認知

- 試合中断
- 館内アナウンスおよび大型ビジョンによる広報開始
- 災害対策本部・自衛消防隊本部の設置

地震発生

- 館内アナウンスおよび大型ビジョンによる周知
- 身の安全の確保

地震鎮静後

- 災害対策本部・自衛消防隊本部の編成
- 施設の安全確認
- けが人・迷子発生への対応
- 火災への対応
- 来場者の避難誘導

防災用ホワイトボードを改良

災害時にどこで何が起きているかなどをより迅速に把握するため、防災に必要な情報を記載した館内図面などを印刷したものに改良しました。

防災カードを社員・スタッフに配布

災害時に必要とされる氏名や住所、血液型などに加え、札幌ドームでの対応要領、消火栓やAEDの使い方などを記載した防災カードを配布しました。



札幌市の避難場所として指定されています

札幌ドームは札幌市の広域避難場所に指定されており、市のマニュアルに基づいて、災害発生時に避難場所を円滑に運営するための準備をしています。

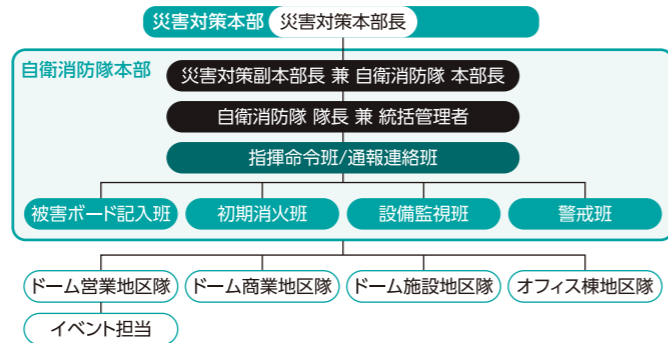
●札幌ドームの防災システム

防災センターを中心とした総合防災システムなどを完備。全館に火災通報設備、非常照明設備、初期消火設備としてアリーナ・スタンド・コンコースなどに消火器や屋内消火栓、放水銃を設置し、消防用水を4か所に確保。非常用発電機も設置しています。



優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。防災センターに設置された総合操作盤を中心とする総合防災システムへの評価などで、竣工時に優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。

●札幌ドーム自衛消防隊 編成表[イベント開催日]



大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化

札幌ドームのすべてのお客さまにとっての安全を最優先に考え、関係機関とも協力して警備体制を強化。救命処置などにあたる体制も整え、お客さまに安心して楽しんでいただける環境整備に力を入れています。

警備体制

センサーや遠隔監視システムなどを用いた機械警備と、警備員による巡回警備を実施。イベント開催時には、警察・消防・主催者さまと連携してお客さまの安全を確保しています。



救命体制

AEDを屋内外に計8か所設置 使用方法についての講習も受講

AED(自動体外式除細動器)を屋内外に計8か所設置しています。また、2013年度はAEDの使用方法などについて学ぶ普通救命講習を2名が受講しました。

テロ対策(爆発物処理)訓練を実施

2013年4月に発生した米・ボストンの爆破テロ事件を受け、札幌ドーム内でテロ対策訓練を実施。北海道警察本部の機動隊員や委託事業者さま、当社社員などが連携し、通報や避難誘導、爆発物処理などの手順を確認しました。

訓練想定:
札幌ドーム南ゲート付近において爆発物のような不審物が発見されたと想定

- 110番通報
- 警察官、警備員と連携した立入禁止区域設定と現場状況の報告
- 爆発物捜索犬による火災反応確認
- 爆発物処理



不審物を確認して爆発物と判断後、遠隔操作できるロボットで屋外へ搬送、処理車に乗せるまでを訓練。



4万人のお客さまの「食」の安全を守ります

保健所や民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理を行っています。飲食事業者さまとともに、おいしさと衛生面の両立を図っています。

飲食物の衛生管理

衛生管理のための対策を推進

札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会」において、重点的に取り組む4つのマイルールを策定。各会員事業者さまが協調してマイルールの徹底を図り、「食」のさらなる安全を目指しています。

札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底し、売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識の向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに来場するお客さまに安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

※マイルールの実施例はP.18をご覧ください。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して2009年6月に創設した制度で、札幌市内の生産者・食品事業者・食品関連団体が対象となります。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して積極的かつ自主的に取り組んでいることの中から、重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取り組み結果を市長に報告します。

飲食売店の給水栓を改良

飲食売店厨房、パントリーの衛生環境改善のため、これまでハンドル式だった給水栓をより衛生的なレバー式のものに交換しました。



消毒液を設置

ノロウイルスなどの感染予防のため、手指用消毒液を館内各所に設置。流行期となる冬期間は設置場所を増やして感染予防の強化を図りました。



食品衛生講習会を実施

飲食売店などの新人スタッフのための講習会のほか、社員・リーダーなどを対象にその時期に特に注意が必要な対策などについての講習会を3回実施。



最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめ展示会やコンサートなどのさまざまなイベントを円滑に開催し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台を常にご用意しています。



最高の舞台をつくるために …………… P.14
札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに … P.15

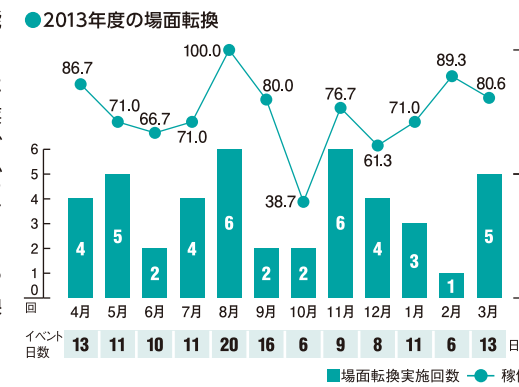


最高の舞台をつくるために

トップアスリートやアーティストをはじめ、ご来場いただくすべての皆さまにご満足いただけるように、札幌ドームは最高の舞台を提供するためのさまざまな努力を続けています。

多様なイベントスケジュールに対応し場面転換作業を実施

札幌ドームの多目的利用を可能にしているのは、サッカー、野球、コンサートなどの目的に応じたモードへのアリーナの転換作業です。2013年度はコンサートが開業以来最多になったことなどから、特に7・8月は場面転換のスケジュールが過密になりましたが、主催者さまの要望に対応しながら調整を重ね、計44回の場面転換作業を実施しました。



●場面転換の実施例

当日の実施イベント	イベント終了後の場面転換
27[土] コンサドレー戦 場面転換	サッカー→コンサート
28[日]~30[火] 設営	
31[水] コンサート	
1[木] 撤去・場面転換	コンサート→野球
2[金]~4[日] 北海道日本ハム戦	野球→全面人工芝
5[月] アマチュアスポーツ	
6[火] アマチュアスポーツ	
7[水] アマチュアスポーツ	
8[木] アマチュアスポーツ 場面転換	全面人工芝→野球
9[金]~11[日] 北海道日本ハム戦	

プロサッカー

選手の熱いプレーを支えるために 1年を通して芝生の管理・整備を徹底

ホヴァリングサッカーステージのメンテナンスや年間を通じた芝生の管理・整備などを徹底し、Jリーグなどを開催。2013年度は、札幌厚別公園競技場から札幌ドームへの会場変更に急ぎ対応した2試合を含む、コンサドレー札幌戦9試合を開催しました。



プロ野球

すべての試合において選手が最高のパフォーマンスを発揮できるプレー環境に

2013年度はプロ野球公式戦・オープン戦のほかに、「マツダオールスターゲーム2013」が行われました。すべての試合において選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できるようグラウンドなどの整備に取り組み、質の高いプレー環境を提供しています。



その他のイベント

雪を活用したウィンタースポーツの舞台としても対応

第18回トヨタ・ビッグ・エア

世界を代表する選手が技を競うスノーボードの国際大会を2014年2月22・23日に開催。屋内アリーナに大量の雪を運び入れ、高さ36mのジャンプ台を設置するため、館内温度などの会場管理を徹底しました。



第34回札幌国際スキーマラソン大会

札幌ドームをメイン会場に2014年2月2日に開催。通常は駐車場などとして使用している敷地の約半分の面積に雪を敷き詰め、コースを設営しました。毎年、必要な雪を計画的に確保し、終了後は速やかに排雪を行って次のイベント開催に備えています。



さまざまなイベントやコンサートなどを開催しました

「AKB48」や「東方神起」によるドームツアーなど、初開催のアーティストを含め2013年度のコンサート数は開業以来最多となりました。また、「モーターショー」や「体験型謎解きゲーム」などの多様なイベントの開催に対応しました。



●モーターショー

多彩な車両展示が人気を集め3日間で11万5,264名が来場。

●中古車市

道内最大規模の中古車の展示・販売イベントを開催。

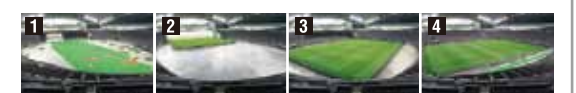


各イベントは広報誌や地下鉄広告などで告知

各イベントは広報誌「札幌ドームイベントニュース」や地下鉄広告などを活用し、より多くのお客さまにご来場いただけるよう積極的に告知。イベントの成功を後押ししています。

■多目的利用を可能にする 世界初のシステム

天然芝のホヴァリングサッカーステージが移動。野球とサッカーの場面転換を行う世界初のシステムが、札幌ドームの多目的利用を可能にしています。



- 1 野球フィールドの人工芝を巻き取り、開口部を開放。開閉式可動席を収納します。
- 2 ホヴァリングサッカーステージの移動と運動して旋回式可動席も移動させます。
- 3 ステージがクローズドアリーナに到着後、旋回式可動席とともに90度回転し、野球の内野席とサッカーのメインスタンドを一致させます。
- 4 開口部を閉じ、開閉式可動席を復元してサッカーモードへの転換が完了です。

札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに

「コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」。市民道民に愛される2つのプロチームを支えるとともに、サポーターやファンの皆さまにより楽しんでいただけるように、さまざまなかたちで協力しています。

札幌ドームMVP賞

2004年度から毎年、その年に札幌ドームで最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈っています。コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズから各1名を選び、歴代の受賞選手の記念プレートを西ゲート前に設置しています。



2013年度サッカー部門は内村 圭宏選手が受賞

札幌ドームMVP賞・サッカー部門の内村圭宏選手は、ファン投票746票中454票の最多票を獲得。チームトップ、J2で3位の得点を挙げ、札幌ドームでゴールを決めた3試合はどれも勝利を収めるなど、チームに貢献しサポーターを大いに沸かせたことなどを理由に選ばれました。

[ファン投票で寄せられた投票理由]※一部抜粋
 ■ゲームキャプテンを任せられても頼もしかった。
 ■出場したすべての試合でファイト溢れるプレー、あきらめずに最後まで頑張るプレーでチームを勇気づけ、牽引していた。
 ■得点力だけでなく前からのプレスなど、毎回気持ちのこもったプレーでこちらまで熱くなる。
 ■ウッチーが走るとワクワクします。得点の匂いがします!それだけではなく、やってくれます!!



2013年度野球部門は陽 岱鋼選手が受賞

札幌ドームMVP賞・野球部門の陽岱鋼選手は、ファン投票1,512票中706票の最多票を獲得。チームで唯一全公式戦に出場し、安打数・盗塁数がチーム1位の活躍を見せたほか、ファンサービスに積極的で試合中もスタンドのファンを大いに楽しませたことなどを理由に選ばれました。

[ファン投票で寄せられた投票理由]※一部抜粋
 ■俊足1番が今年も札幌ドームを盛り上げてくれた!プレーだけでなくサービス精神も素晴らしい!
 ■攻守にわたり良いプレーをしていたし、多くの盗塁によって勝利に貢献していた。
 ■ファンを喜ばせる仕事などが光っていて、たくさんのファンの笑顔を生み出したと思います!

コンサドーレ札幌との連携

より多くのお客さまにご観戦いただき、楽しんでいただくための協力を行っています

[2013年度の主な実施項目]

スポンサーデーを開催しました

チームのさらなる活躍を願い、スポンサーデーを開催。札幌ドームメンバーズクラブ会員さまを対象にエスコートキッズなどのイベント参加者を募集しました。



ホヴァリングサッカーステージを皆さまと協力し除雪

ホーム開幕戦を前に、サポーターをはじめ240名の皆さまにご協力いただき、芝を傷つけないよう除雪の仕上げを手作業で行いました。



屋外イベントへの協力

サポーターの皆さまが楽しみにしている屋外のテラスやオープンアリーナで開催するイベントに協力。



展望台を特別営業

全国各地からのご来場者さまのため、試合前と試合終了後、展望台の特別営業を実施。観戦チケットの提示で入場料金を割引しました。



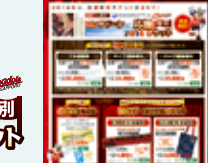
さまざまな飲食企画を展開

- 限定メニュー
- 応援弁当
- サンキューメニュー
- コンサdeクラッチ



応援特別チケットを販売

札幌ドーム限定! SAPPORO DOME X CONSAドルle 応援特別 2014 チケット



コンサドーレ札幌
 1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームをホームスタジアムとし、Jリーグの中でも特に熱いサポーターとともに熱戦を展開。サポーターの皆さまには、毎年、ボランティアとしてサッカーシーズンの除雪作業にご協力をいただいています。

チケット販売支援

札幌厚別公園競技場開催試合のチケットも、札幌ドームメンバーズクラブ会報紙「DOME PRESS」などで告知し、販売しています。



北海道日本ハムファイターズ
 2004年に本拠地を北海道へ移転して以来、4度のリーグ優勝に輝くなど、ファンを魅了しています。地域密着の理念に基づいたさまざまなファンサービスにより道民球団として浸透。ホームでのあたたかな応援スタイルも定着しています。

チケット販売支援

旭川など道内他球場での開催試合チケットも、札幌ドームメンバーズクラブ会報紙「DOME PRESS」などで告知し、販売しています。



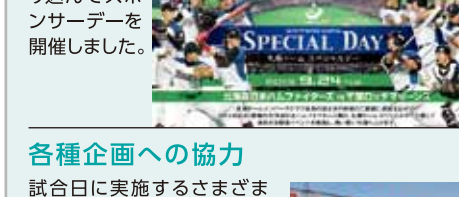
北海道日本ハムファイターズとの連携

ファンの皆さまとチームの交流を深める機会や試合・練習環境の整備などで協力を行っています

[2013年度の主な実施項目]

スポンサーデーを開催しました

チームのさらなる活躍を願い、さまざまな企画を盛り込んでスポンサーデーを開催しました。



各種企画への協力

試合日に実施するさまざまな企画実現のため、諸官庁との調整や安全確認、警備などの協力を行っています。



● 花火大会
 札幌ドーム敷地内で開催する「ファイターズ花火大会」に協力。

選手応援メニューなど飲食企画を実施

選手応援メニューや限定スイーツなどを販売する「ファイターズ絶品グルメ」など、新たな企画を含め多彩な飲食企画を実施しました。

- ビール半額デー
- サンキューメニュー
- 応援弁当
- Fs限定スイーツ
- 絶品グルメ
- バリューメニュー



芝生の育成管理を徹底しています



最高の状態でプレーできる環境を維持するため、芝生の育成状況などを日々確認しながら整備を実施。試合前日に屋内で練習できるように日程調整するなどの協力もしています。



● 屋外サッカー練習場の貸し出し
 シーズンを通じて芝生でトレーニングできる屋外サッカー練習場を貸し出し、ホヴァリングサッカーステージと同じクオリティの練習環境を提供。

札幌市交通局との連携

最寄り駅・地下鉄「福住駅」構内に選手などをモチーフにした装飾を行いました

札幌市交通局、コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズと連携し、札幌ドームの最寄り駅・地下鉄東豊線「福住駅」構内に装飾を設置。駅を利用するお客さまの両チームや観戦に対する関心と期待を高めています。



● 地下鉄福住駅装飾
 プレー中の選手写真やチームスローガンなどを福住駅コンコースなど構内各所に設置。

試合・練習環境の整備に協力しています

試合日以外の札幌ドームでの練習日をできるだけ要望に応えられるよう調整。マウンド整備やバッティングケージの準備など、良好な練習環境を提供し、気持ち良くプレーできるように配慮しています。



● 巡回式可動席レールの補修
 レール部に埋め込まれているゴムが経年により収縮したため、人工芝上の段差が気になるという選手の声に対応。段差解消の補修を行いました。

より楽しく、より快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食・物販事業をはじめ自主・共催イベントの開催や市民利用などの充実を図っています。



- スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように… P.18
- ショッピングをお楽しみいただくために… P.19
- 観光をお楽しみいただくために… P.19
- より便利に楽しくご利用いただくために… P.20
- 新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して… P.21
- 市民の皆さまに、より多くご利用いただくために… P.22



ご来場者数3,000万人達成を記念して「感謝の森」をつくりました

累計ご来場者数3,000万人達成を記念し、2つのプロチームと札幌ドームに足を運んでくださった皆さまへの感謝を込めて、2013年6月に「感謝の森」を造成。美しい花が咲くヤマボウシを植樹しました。

スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように

札幌ドームでイベントとともにスタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように、メニューの充実はもちろんサービス面の強化などにも力を入れています。

飲食事業

飲食売店3店舗がリニューアルオープン

札幌ドーム内には、通年営業のレストラン1か所と、イベント開催時のみ営業する飲食売店24か所、ワゴン売店13か所、その他お弁当ワゴンなどがあります。イベントに訪れたお客さまの要望に応え、飲食サービスのさらなる充実を図るため、2013年度は飲食売店3店舗をリニューアルオープン。飲食の楽しみをさらに広げ、お客さまにご利用いただいています。



●アイスcreamパラダイス
合計20種類のフレーバーの中からお選びいただけます。チョコスプレーなどトッピングも自由ができます。



●cafe Lion D'or
体にやさしい有機栽培のコーヒー豆を使用し、バラエティ豊かなメニューを提供するテイクアウトカフェ。



●中華ごはん mou-bou
札幌ドームに初めて登場した中華料理専門店。山椒油や独自調合のこだわり調味料を使い、お客さまの目の前でシェフが中華鍋を振って調理します。



お客さまに楽しんでいただける飲食企画を展開

札幌ドーム内のさまざまな飲食メニューをさらにお楽しみいただくために、お気に入りメニューの投票企画や期間限定メニューなどを展開しました。



●スター誕生
2013年春販売の新商品のうち15品をノミネートし、お客さまの投票でグランプリを決定しました。

投票の結果、総合グランプリに選ばれたメニューは、後日、39% (サンキュー) OFFで販売しました。



●秋のグルメランド
各飲食売店が秋の食材、食欲の秋にちなんだ期間限定メニューを販売しました。

バラエティに富んだお弁当の開発に力を入れています

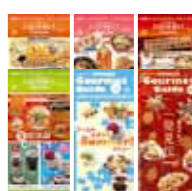
マスコットキャラクターとのコラボ弁当や女性も手軽に食べられるチョイ飯シリーズなど、バラエティに富んだお弁当の開発に力を入れています。



●札幌ドーム弁当

さまざまなお客さまに喜んでいただけるメニュー開発、紹介を積極的に行っています

各飲食事業者さまの協力により、多様なメニューを積極的に開発し、おすすめメニューなどを「グルメガイド」で紹介。「2013Jリーグスタジアムグルメ大賞」に選出されるメニューも生まれました。



●「Jリーグスタジアムグルメ大賞」でジーンズカン弁が「ベストイレブン」に選出されました。

サービスや衛生意識の向上に取り組んでいます

サービス面の強化などを主眼に、各飲食事業者さまのリーダーが参加して学び合う「店長塾」を開催。また、札幌ドーム飲食事業者協議会マイルールに基づいて、身だしなみや手洗い方法などを記載した「スタッフハンドブック」を制作・配布し、衛生・サービスの講習会も行っています。



「店長塾」ではグループディスカッションも実施。それぞれが取り組みと成果を発表し、共有することで、さらなるレベルアップを目指しています。

お客さまの安心のためお弁当のアレルギー情報を発信しています

お客さまに安心して選んでいただくことができるように、販売しているお弁当に含まれるアレルギー物質の情報をPOPやパンフレットのほか、ウェブサイトからも発信しています。

ショッピングをお楽しみいただくために

ご来店いただくお客さまに、札幌ドームならではのグッズなどのショッピングも十分に楽しんでいただけるように、店舗や商品などの充実に取り組んでいます。

物販事業

グッズ☆ジャム拡張リニューアル

グッズ販売の充実を図るため、グッズショップ「グッズ☆ジャム」の拡張工事をを行い、2014年3月にリニューアルオープン。店舗スペースを約1.6倍に拡張し、これまでよりもゆったりとしたレイアウトと充実した品ぞろえで、お客さまをお迎えできるようになりました。



コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの公式グッズをはじめ札幌ドームオリジナルグッズなど豊富な品ぞろえ。



館内のコンコース側にも店舗出入口を新設し、ゲート入場後も利用可能に。



会計レジを3台から5台に増設し、混雑の緩和を図りました。



スイートシートでグッズを出張販売

4階スイートシートをご利用いただくお客さまのために、移動式ワゴンを製作してグッズの出張販売を始めました。



ミニタペストリー販売

札幌ドーム限定の北海道日本ハムファイターズグッズとして、全30種類のミニタペストリーコレクションを販売しました。



観光をお楽しみいただくために

札幌ドームは観光の拠点としてもお客さまをお迎えしています。訪れたお客さまによりお楽しみいただける魅力づくりに努めています。

観光事業

メモリアルコーナーに展示物を追加

「キリンチャレンジカップ2012」「侍ジャパンマッチ2012」のほか、コンサートに関する記念品などを展示物として追加しました。



展望台にも新たな展示物が加わりました

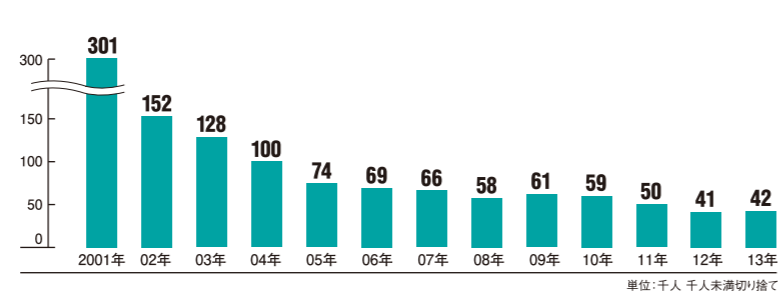
展望台ご利用のお客さまにお楽しみいただく展示物として、「マツダオールスターゲーム2013」出場選手のサインボールが新たに加わりました。



スタンプラリーに参画

道内の観光地などを回るスタンプラリー企画に札幌ドームもスタンプ設置施設として参画しました。

●観光(ドームツアー・展望台)来場者数の推移



札幌ドームには国内唯一のドーム展望台があり、ドームの裏側をご紹介しますツアーも実施しています

高さ53mの展望台からはアリーナ全景と札幌市街の大パノラマを楽しめます。専属アテンダントが案内するドームツアーも実施しています。



より便利に楽しくご利用いただくために

ご利用いただくお客さまにとって、より便利で楽しい札幌ドームを目指して、さまざまな面から利便性向上やサービスの拡充を進めています。

お客さまサービスの推進

「らくスルー」リニューアル

札幌ドームチケットレスサービス「らくスルー」をリニューアル。これまでのQRコードでの入場に加え、おサイフケータイでの入場も可能になりました。おサイフケータイでチケットを受け取れるようになったことで、入場時にQRコードを呼び出したり、あらかじめパソコンの画面を印刷するなどの手間がなくなり、お客さまにより便利にご利用いただけるようになりました。



●らくスルーの流れ



ウェブサイト会員登録後、ログインしてチケットを購入。チケットはおサイフケータイまたはQRコードで受け取り、札幌ドーム入場ゲートの読み取り機に携帯電話などをかざして入場します。

※「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

クレジットカードをより使いやすく

場内飲食店で利用可能なクレジットカードが札幌ドームメンバーズクラブカード以外にVISA、Master、JCBもご利用できるようになりました。



toto販売開始

札幌ドーム総合案内チケット窓口にて、2013年7月より「スポーツ振興くじ toto」の販売を開始しました。



共通スタンプカード

札幌ドーム内の対象施設・店舗でのお買い上げなどでスタンプ(シール)を20個集めて応募すると、抽選で賞品が当たる「共通スタンプカード」を実施。温泉宿泊券や折りたたみ自転車など、内容を毎月変えて、毎月100名に賞品をプレゼントしました。



札幌ドームメンバーズクラブ

メンバーズクラブの会員特典として、チケット先行販売・割引販売などのほか、会員限定のイベントも企画しています。2013年度の北海道日本ハムファイターズの札幌ドームスポンサーデーでは、始球式やキッズスターターなどにご参加いただきました。



発行100号を迎えた会報紙「DOME PRESS」。会員限定のチケット情報やプレゼント企画など情報満載。

札幌ドームメンバーズクラブについて

札幌ドームで開催されるイベントのチケット先行販売・割引販売、前売駐車券の割引販売、館内施設優待利用などの特典があり、会員証はクレジットカード機能付き。初年度年会費無料(2年目以降500円※税抜)。

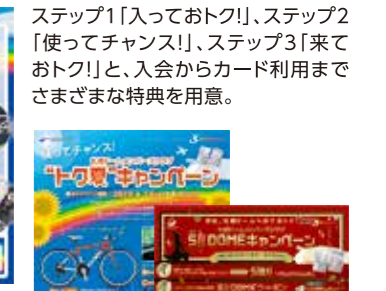


3ステップキャンペーン

メンバーズクラブへのご入会・ご紹介などをお呼びかける「3ステップキャンペーン」を展開。カード利用に応じたプレゼントなどを実施しました。



●入っておトク!



●使ってチャンス!



●来ておトク!

新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して

札幌ドームの新たな魅力を発信し、さまざまなお客さまにさらに楽しんでいただけるように、当社が企画・運営を行う自主・共催イベントの開催にも取り組んでいます。

自主・共催イベントの開催

北ガスグループ 6時間リレーマラソン

2013年で開催3回目を迎え、北海道の夏を彩るイベントに成長した人気イベント。6時間の周回数をチームで競う種目などを実施し、1,158チーム8,911名にご参加いただきました。



家族や友人などのチームで「たすき」をつなぎながら、1周2kmの札幌ドーム特設コースを走るリレーマラソン。



ふわふわアドベンチャー

スタンドを利用した巨大すべり台やキャラクターなどの大型エア遊具がアリーナに登場。子どもに大人気の冬休み恒例のイベントです。



わくわくサッカー教室

コンサドーレ札幌の選手に協力をいただき、屋内アリーナで幼児から小学生を対象にサッカー教室を開催しました。



親子お料理体験教室

小学生とその保護者さまを対象に、札幌ドームで販売されている飲食メニューなどについて学び、料理づくりを親子で一緒に体験できる教室を開催しました。



秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ

札幌ドームと豊平区がそれぞれで開催していたイベントを2013年度は同時開催。札幌ドームを無料開放し、スポーツのアトラクションを多数用意し、4,328名にご参加いただきました。



- プロスポーツ ゲームコーナー
- キャッチボールゾーン
- 昼間ダッシュ
- フリースペース
- キッズエリア
- 体力チェック
- 運動教室
- 巨大迷路
- お絵かきコーナー

札幌ドーム大捜査線

館内を探検しながら謎を解き、北海道日本ハムファイターズのマスコットキャラクターを助け出す体験型謎解きゲームを初開催しました。



展望台コンサート

展望台からの美しい眺めとともに音楽を楽しむ「X'masコンサート」を3日間にわたって開催しました。



市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

札幌ドームの屋内アリーナやサッカー練習場などを市民の皆さまにもご利用いただいています。また、地域の皆さまの健康のお役に立てるようにトレーニングルームも運営しています。

野球・サッカー等の一般利用

野球一般利用

プロ野球選手たちが活躍する屋内アリーナでの草野球をお楽しみいただけるほか、ソフトボールやレクリエーションでの利用も可能です。



サッカー一般利用

屋外の天然芝と人工芝のサッカー練習場に加え、Jリーグなども行われる天然芝のホヴァリングサッカーステージもご利用いただけるほか、屋内アリーナでもサッカー利用が可能です。



●ホヴァリングサッカーステージ



●屋内アリーナ

トレーニングルーム

運動教室

初心者の方にもお楽しみいただける運動教室を開催。専門の講師による、さまざまなプログラムを用意し、多くのお客さまにご参加いただきました。

- ラテンエアロ
- ピラティス
- ストレッチ&お気楽エクササイズ
- 脂肪燃焼ステップ 等



無料開放デー

日頃のご利用に感謝を込めて無料開放デーを実施し、トレーニングマシンを体験いただきました。同時開催企画として、無料の運動教室や健康講座なども実施しました。

- 運動教室
- 健康講座
- 体力&体組成(フィジオン)測定
- 親子野球教室



パワープレート導入

2013年5月に「パワープレート」を新規導入。前後・左右・上下の3D高速振動によってエクササイズ効率を飛躍的に上げると世界的に注目されるトレーニングマシンです。



●専用アプリ
パワープレートをより効果的に利用できるタブレット端末アプリを導入。

札幌ドームNIGHT RUN

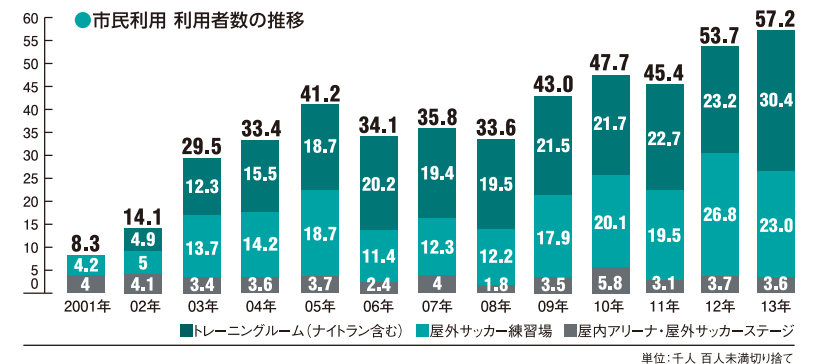


寒さや雪の心配がないコンコースの一部をランニングコースとして一般開放する「札幌ドーム NIGHT RUN」を実施。今季は12月5日から4月30日までの計59日間、ご利用いただきました。



トレーニングルーム

各種トレーニングに対応できる20機種35台のマシンを完備。トレーナーからアドバイスを受けることもでき、初心者から経験者まで、地域の皆さまの健康・体力づくりの場として根付いています。



お客さまの声をかたちに

お客さまの声は、私たち札幌ドームにとって貴重な財産です。私たちに届けいただいた声を少しでもかたちにできるように、学ぶ姿勢を持って、真摯に耳を傾けています。

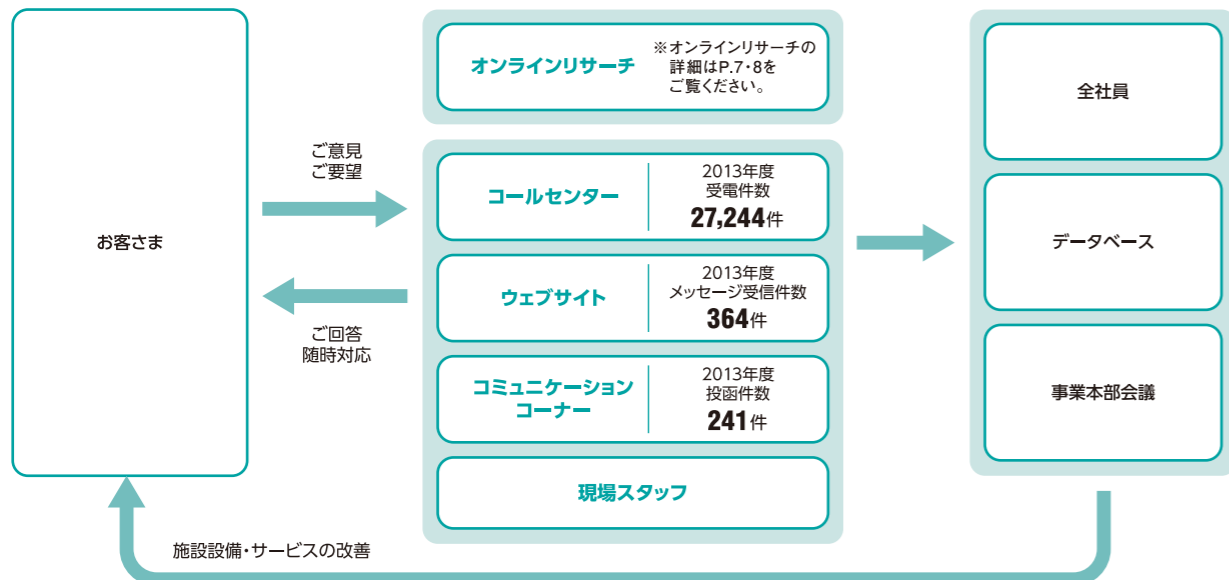


2013年度、お客さまの声がかたちとなりました …… P.24



お寄せいただいたお客さまの声を生かすために

コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに寄せられた貴重なご意見は、電子化して経営層を含めた全社員に配信。すべてデータベース化し、十分な検討が必要なご意見については、事業本部会議にて改善に向けた議論を重ねています。すぐに解決できないご要望などについては、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っています。



より幅広くご意見をいただくためアンケートも実施

幅広いお客さまからご意見をいただくために、イベントにご来場・ご参加いただいた皆さまにアンケートをお願いしています。イベントの内容や運営、施設設備などさまざまな面について頂戴したご意見は、改善に向けての参考にさせていただきます。

下記のイベント・企画にご来場・ご参加いただいたお客さまにご協力いただきました。

- 北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム
- ふわふわアドベンチャー ●展望台コンサート
- 秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ
- わくわくサッカー教室 ●札幌ドームみらいシート

2013年度、お客さまの声がかたちとなりました

コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに加え、オンラインリサーチを通じてお寄せいただいたお客さまの声をふまえ、施設設備やサービスの改善などに取り組んでいます。

2013年度の改善事例

シャトルバスターミナルの照明を増強

照明増設のご要望をふまえて、南ゲートからシャトルバスターミナルへの歩行者ルートとシャトルバスターミナルエリアに照明設置工事を実施。また、既設照明の一部を省電力のLED照明に更新しました。



大階段手すり付近にサインを設置

コンコースにある大階段は飲食・休憩場所としても利用されているため、手すりを必要とするお客さまの通行に支障があるとのご意見があり、手すり付近の座り込みに注意を喚起するサインを設置しました。



プラスチック製容器のお弁当販売を再開

プラスチックケースのお弁当をまた販売してほしいというお客さまの声にお応えし、陽岱鋼選手・中田翔選手にちなんだファイターズ応援弁当としてプラスチック製容器のお弁当販売を再開しました。



「グッズ☆ジャム」を拡張リニューアル

品ぞろえの充実や入場後も買い物を楽しみたいという声をふまえ、グッズショップ「グッズ☆ジャム」をリニューアル。店舗スペースを拡張して品ぞろえを豊富にし、館内側にも出入り口を新設しました。



スタンドでのサワー販売を開始

イベント開催時のスタンドでのドリンク販売の種類を増やしてほしいというご意見に応え、ビールやソフトドリンクに加えてサワー系アルコールドリンクの販売を開始しました。



着替え台設置などでトイレをより使いやすく

お客さまのご要望をふまえたより使いやすいトイレを目指して、女性用トイレの一部に着替え台を設置。多目的トイレにはセンサー式せっけんディスペンサーと荷物置き用のテーブルを設置しました。



「お客さまの声をかたちに」の項目をウェブサイトに設け改善事例などを紹介

ウェブサイト「会社情報・CSR」メニューの「お客さまの声をかたちに」から、主な改善事例などをご覧いただけます。



コミュニケーションコーナーのご意見への回答掲示を開始

コミュニケーションコーナーに寄せられたご意見に対する回答を定期的にまとめ、コーナー前に掲示するようにしました。

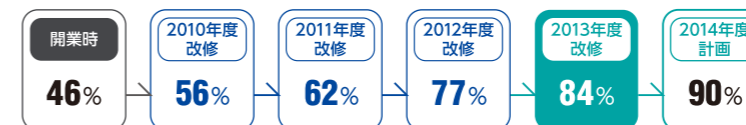


中期的な改善事例

洋式トイレの割合を高める改修工事を中期的な計画に従って進めています

ご要望の多いトイレの洋式化推進については、他の公共施設の和式・洋式割合を調査するなどの検討をした結果、1階コンコースは和式10%・洋式90%を目指す改修を2010年に決定しました。洋式トイレの方が和式よりもスペースを必要とするため、個数を減らさないようレイアウトを工夫し、また環境に配慮して擬音機も設置しています。2010年度よりお客さまの利用頻度が高いトイレから計画的に改修を進めています。

●改修による洋式トイレ割合の推移



地域とともに成長するために

市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、札幌ドームは地域社会に貢献する活動にも力を入れ、地域社会の一員としてともに成長していくことを目指しています。



地域社会のための取り組みに力を入れています…………… P.26
 未来を担う子どもたちのために…………… P.27



地域社会のための取り組みに力を入れています

地域社会の一員として、さまざまな事業を通じて地域に貢献していくことに力を入れています。また、地域の皆さまの活動のサポートにも積極的に取り組んでいます。

大型イベント開催による貢献

大型イベントの開催を通じて、地域経済の活性化に貢献しています

札幌ドームで開催するスポーツやコンサートをはじめとする大型イベントには、札幌市内はもちろん全道、全国各地からも多くのお客さまにご来場いただいています。これに伴い、お客さまには交通機関のほか飲食店、宿泊施設などもご利用いただくことから、札幌ドームも地域経済活性化の一端を担う役割を果たしています。



●北海道日本ハムファイターズ戦



●コンサドーレ札幌戦



●第18回 トヨタ・ビッグ・エア



●マツダオールスターゲーム2013

2013年度 スポーツイベント	開催日数	
コンサドーレ札幌戦	9日	スポーツイベント 総来場者数 1,876,768人
北海道日本ハムファイターズ戦	67日	
マツダオールスターゲーム2013	1日	
第18回 トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム	2日	

2013年度 コンサート	開催日数	
東方神起 LIVE TOUR 2013 ～TIME～	1日	コンサート 総来場者数 436,214人
EXILE LIVE TOUR 2013 EXILE PRIDE	2日	
AKB48・2013真夏のドームツアー～まだまだ、やらなきゃいけないことがある～	1日	
B'z LIVE-GYM Pleasure 2013 -ENDLESS SUMMER-	1日	
ARASHI Live Tour 2013 "LOVE"	3日	
関ジャニ∞ LIVE TOUR JUKE BOX	1日	
BIGBANG JAPAN DOME TOUR 2013～2014	1日	

2013年度 コンベンション・その他	開催日数	
北ガスグループ6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2013	1日	コンベンション・ その他 総来場者数 344,274人
ふわふわアドベンチャー in 札幌ドーム	4日	
秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ	1日	
札幌ドーム大捜査線～ドームに囚われたB・Bとボリーを救出せよ～	1日	
札幌モーターショー2014	3日	
その他	35日	

2013年度 イベント開催実績	計	134日	2,657,256人
-----------------	---	------	------------

北海道を代表するイベントに協賛

- さっぽろオータムフェスト
- ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo
- さっぽろ雪まつり
- カルチャーナイト
- 道新・UHB花火大会
- 札幌交響楽団維持会員
- 北海道国際音楽交流協会賛助会員



さっぽろオータムフェスト

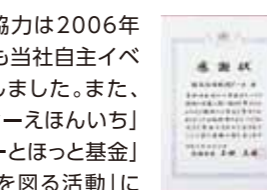


さっぽろ雪まつり

寄付活動

「歳末たすけあい募金」への協力は2006年度から行っており、2013年度も当社自主イベントの収益金の一部を寄付しました。また、2013年度は新たに「チャリティーえほんいち」での売上金を札幌市の「さぼーとほっと基金」を通じて「子どもの健全育成を図る活動」に寄付しました。

- チャリティーえほんいち
使わなくなった絵本を家庭から集め、「秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ」開催時にブースを設けて安価で販売しました。



地域の活動支援

地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます

町内会の一員としての活動にも積極的に参加しているほか、近隣の約12,800世帯を対象に、札幌ドームでの開催イベントの情報などを掲載した広報誌「札幌ドームイベントニュース」を配布しています。

- 地元町内会主催「花ランド事業」への協力
- 地元町内会主催夏祭りなどへの賞品提供
- 豊平区成人の日への協賛



- 秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ
多数のスポーツアクションが楽しめる当社自主イベントと、豊平区が区民の健康増進などのために開催するランニングイベントを共同で実施しました。

●冬季ボランティアサポートプログラム

地域の皆さまとともに周辺歩道の砂まきなどを行うことで、安全で快適な冬の歩行環境を実現しようと北海道開発局が実施。札幌ドームも地域の一員として協力しました。



●ウェルカムキャンドル2014

手作りのアイスキャンドルに火を灯し、ドーム前広場を彩るイベントに町内会の皆さまと共同で取り組みました。



●ゆきだるまプロジェクト

雪のある暮らしを楽しもうと札幌市が実施しているプロジェクトに協力し、札幌ドーム敷地内に雪だるまを制作しました。



みらいを担う子どもたちのために

札幌ドームの試合観戦に招待する事業や教育、スポーツに関連する支援活動などを通して、みらいを担う子どもたちの健やかな成長を応援しています。

観戦招待事業 「札幌ドームみらいシート」

「札幌ドームみらいシート」は、「初めての札幌ドーム」をコンセプトに、札幌ドームで開催されるコンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に札幌市内の小学校3年生とその保護者さまをご招待するプロジェクト。子どもたちがスポーツへの関心を高め、地域・学校・家族の絆が深まることを期待して各試合20組40名を抽選で招待。2013年度は66校2,032名にご観戦いただきました。



■札幌ドームみらいシート
ご招待実績(2008年～2013年)

・コンサドーレ戦	48試合
・ファイターズ戦	324試合
	415校 計13,862名

【特別ご招待】

・コンサドーレ戦	5試合
・ファイターズ戦	16試合
児童養護施設および 母子支援生活施設	440名
市内公募	550名
	計14,852名

●子どもたちからのメッセージ

クラスの友だちと見れて
楽しかった。野球がすきに
なった。

学校の友達、いしょに行けたし、
試合も勝ったからって
楽しかったです。

特別な席にあって...というのが
とても感動した。
ドームの中も広く楽しかった。

たくさんの友だちと
おうえんできたのが楽しかった。

●保護者さまからの メッセージ

みらいシートで観戦後、子供達が野球が好き
になり、何處かへ行くようになった。みらい
シートのようなドームへ足を運ぶのはとても良いと思われす。

今年野球観戦に行こうと悩んでいたが、みらいシートで当選し、
子どもも作れた。子どもがとても喜んでくれました。
また観戦に行こうと悩むママさんにもお話ししました。ありがとうございました。

みらいシートでご観戦された皆さまには、毎年アンケートにご協力いただいております。
ご意見は社内で共有し、施設の管理運営に活かしております。ご協力いただきました
皆さま、誠にありがとうございました。

児童養護施設・母子支援生活施設などの 皆さまに観戦チケットを贈呈しました

「札幌ドームみらいシート」事業の一環として、札幌市内の児童養護施設や母子支援生活施設などの皆さまにみらいシートチケット80名分を贈呈。この事業により、札幌市から感謝状を授与されました。



アマチュアスポーツ支援

札幌市との協定に基づき、アマチュアスポーツ大会の開催を支援しているほか、当社独自の支援も行っています。大会の運営にあたっては、開催規模を考慮しながら主催者さまと打ち合わせを行い、さまざまな面からサポートしています。



●コンサドーレカップ2014
第14回 全道市町村サッカーフェスティバル
全世代対象の大規模なフットサル大会。一度に11名
取れる屋内施設は道内ではほかになく、快適なプレー
環境を提供しています。



●2013 FIGHTERSジュニア王座決定戦
札幌ドームでの決勝トーナメントを目指して、全道各地
の野球少年が参加。ジュニア用のホームランゾーンや
マウンドを設置するなど、運営協力を行っています。

スポーツイベント・団体への支援

●北海道マラソン ●宮様スキー大会後援会員

札幌ドーム 青少年スポーツ育成活動

主に18歳以下の主要アマチュアスポーツ競技団体を対象に、地域のスポーツ振興と発展を目的とした技術指導、選手育成のための支援を行っています。全国大会などに出場する野球やサッカーチームなどに、札幌ドームを練習の場として提供しています。

北海道代表の高校野球部に 練習の場を提供しました

日程調整が可能な場合、北海道代表として全国大会などに出場する高校野球部に、人工芝に慣れることや冬場にも実戦感覚を養うことなどを目的に練習の場を提供。2013年度は選抜高校野球大会に出場する駒澤大学附属苫小牧高校野球部が練習を行いました。

「第3回 札幌ドームこども絵画展2013」

小学生を対象に札幌ドームをテーマにした絵画作品を募集し、「第3回 札幌ドームこども絵画展2013」を開催。寄せられた167点の作品を審査し、札幌ドーム大賞をはじめとする34点の入賞作品を決定しました。入賞作品はウェブサイトで紹介したほか、全応募作品を館内に展示し、ご来場されたお客さまに楽しんでいただきました。



●札幌ドーム大賞
うれしいゴール
渡邊 こはるさん(小学2年生)

2013年9月28日～10月14日の
期間、全応募作品を札幌ドーム南北
連絡通路に展示しました。



●金賞 小学1・2年生部門
アブちゃんのホームラン
山内 美緒さん(小学1年生)

●金賞 小学3・4年生部門
キッズパークの思い出
桂川 菜侑さん(小学3年生)

●金賞 小学5・6年生部門
二刀流大谷翔平大活躍!
鈴木 俊太郎さん(小学5年生)



表彰式には特別審査員を務めたドーレくん
とB・Bも参加し、入賞者に賞状と賞品が贈られ
ました。なお、応募作品は事前に社内に貼り
出し、社員投票を行って入賞決定の参考にし
ました。



教育・文化支援

小学校の総合学習や 職場体験に協力

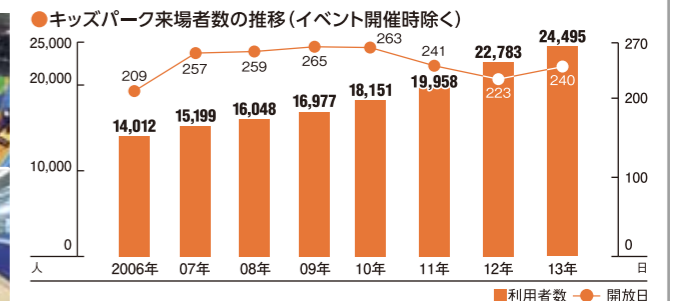
札幌ドームは、小学校の総合学習や職場体験活動に協力しています。2013年度は北海道警察学校の職場体験に協力し、館内の清掃作業の体験や札幌ドームの環境への取り組みなどについての説明を行いました。



培ったノウハウをもとに 地元小学校の芝生化を支援しています

札幌市の「緑の学び舎づくり事業」により、2010年度に校庭を芝生化した市立羊丘小学校の芝生の維持管理を継続的に支援しています。当社が培ってきたノウハウをもとに、地元小学校のために芝生の良好な維持管理に向けてさまざまなお手伝いを続けており、2013年度は当社社員が芝生の状態をチェックしながら相談に応じました。

■大型複合遊具「キッズパーク」は
地域の子どもたちに親しまれています
札幌ドーム3階にある「キッズパーク」は、子ども
たちが元気に遊べる大型複合遊具。イベントが
開催されない日には無料でご利用いただくこと
ができ、地域の子どもたちに親しまれています。

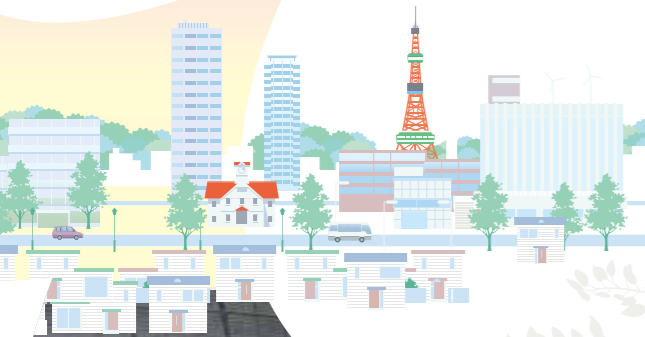


小さなお子様向けのベビーコーナーを
併設し、授乳室やおむつのサンプリング
マシンも用意しています。

誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、社員一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。

社員全員が誇りに思える職場を目指しています …… P.32



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。

人材育成の充実

社員研修制度を整備しています

社員一人ひとりの「個の力」を最大限に高めるため、研修制度を整備。当社の財産である「人材」の育成に力を入れています。

階層別社員研修を実施

戦略的な人材育成制度として、階層別の社員研修（外部公開講座）を実施。入社年数や役職に応じて段階的に実施し、組織の中での役割を認識してスキルアップを図ることを目指しています。



新人事考課制度を導入

人事考課制度を社員の意欲向上と能力開発を目的とした人材育成型の制度として再構築を行い、2013年4月から新制度の運用を開始しています。目標管理中心の制度から、各階層に期待される人物像をプロセス評価の項目に取り入れ、これを重視することで、人材育成につながる制度に改定しました。また、考課結果について、賞与や昇給・昇格への反映方法を明確化したことも新制度の特徴の一つとなります。



資格取得奨励制度で能力・意欲向上を促進

社員の能力・意欲の向上をサポートするため、さまざまな資格の取得を奨励しています。

- 2013年度実績
- 建築物環境衛生管理技術者
 - ファシリティマネージャー
 - 衛生管理者
 - ビジネスコンプライアンス検定
 - メンタルヘルスマネジメント検定
 - 簿記検定 等

ITを活用し業務を効率化

業務の効率化やコスト削減、セキュリティ強化などを目的に、ITを活用した新たなシステムなどの導入を行いました。

- クラウドグループウェア「Microsoft Office 365」を利用した「クラウド型メールシステム」の導入
- 名刺管理システム導入
- 社員用PCのデュアルモニター化 等



健康増進のための取り組み

トレーニングルーム利用料金を助成

札幌ドーム内のトレーニングルーム利用料金の一部を助成。勤務後などにお客さまとともにトレーニングルームを利用し、健康増進や心身のリフレッシュに役立っています。



年2回の健康診断に加えてメンタルヘルス・チェックを実施

社員の健康を第一に考え、年齢に応じた検査項目について年に2回、健康診断を実施。2013年度は、総合的な健康づくりをいっそう推進していくためにメンタルヘルス・チェックを実施しました。

ワークライフバランスの推進

家族を含めた試合観戦の機会を設けています

社員の福利厚生の一環として、コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの年間シートをそれぞれ購入し、1シーズン中に社員1名につき4席・1試合の観戦ができる機会を設けています。観戦を楽しみながら家族に職場の様子を知ってもらうとともに、社員自身がお客さまの目線に立つことで新たな体験や気づきにつながる機会にもなっています。



幅広い福利厚生メニューを提供

社員と家族が日常生活で利用できる福利厚生サービスを提供するアウトソーシングサービス「福利厚生倶楽部」を活用。低コストで楽しめる余暇支援や全国各地の施設の割引、慶弔やライフプラン支援など、幅広い福利厚生メニューを提供しています。

柔軟で効率的な勤務体制を採用

イベント開催などを考慮したシフト制による休日設定やリフレッシュ休暇、時間単位での年次有給休暇などの制度を設けています。柔軟で効率的な勤務体制をとることで、仕事と生活の調和を図る環境づくりを行っています。

当社は、「札幌市ワーク・ライフ・バランス認証企業（ステップ2）」として様々な取り組みを進めています。

[環境にやさしい施設を目指して]

環境にやさしい施設であるために

札幌ドームは「環境方針」に基づき、お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子どもたちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。



- 環境方針・ECO MOTION 2021 P. 34
- 法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます..... P. 35
- 省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします..... P. 36
- 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します P. 37
- 緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます P. 39

札幌ドーム環境コンセプト

札幌ドーム ECO MOTION ～ひとりひとりがエコプレイヤー～

札幌ドーム 環境シンボルマーク



札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

さっぽろエコメンバー



北海道グリーン・Biz認定



2009年度「創意あふれる取組」部門 (もったいない心分野) に認定されました



グリーン購入に取り組んでいます

チャレンジ25



環境方針

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、訪れるすべてのお客さまとともに、よりよい環境づくりに向けて取り組みます (2008年3月策定)

環境方針を実現するため、開業20周年を迎える2021年に向けて重点的に取り組む指針と、2011年を基準年とした新たな数値目標を2013年3月に策定しました。

ECO MOTION 2021 ～2021年に向けた新たな環境目標

① マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底

法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます

- 環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
- 環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
- CSRレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します

② 低炭素社会に向けた取り組み

省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします

- お客さまの安全や快適さを保ちつつ、エネルギー消費抑制に努めます
- 調査研究を進め、効果的な環境設備投資を行います
- 施設の特性を最大限に活かし、積極的な運用改善を行います

■2021年に向けた数値目標 エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

③ 循環型社会に向けた取り組み

廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

- お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
- 事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
- グリーン購入を積極的に進めます

■2021年に向けた数値目標 廃棄ごみを2011年度より30%削減します
リサイクル率を60%以上にします

④ 生物多様性の保全と環境啓発活動の推進

緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

- 生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
- 子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
- 社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます

■2021年に向けた数値目標 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します
環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします



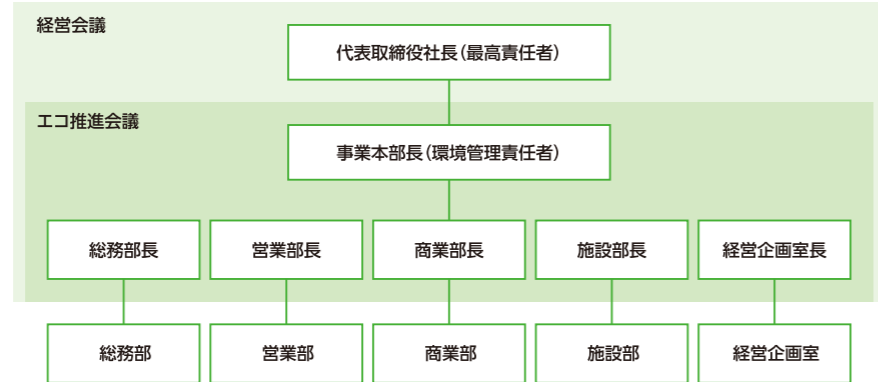
①マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底 **法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます**

札幌ドームは「環境方針」の実現に向けて、関連法令の遵守を徹底し、環境経営の推進に取り組んでいます。また、環境への取り組みをさまざまなかたちで公開しています。

環境マネジメント体制の推進

環境への取り組みをさらに推進していくために、「エコ推進会議」を設置し、環境経営の実現を進めていく体制を強化しています。各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を検討し、プラスチックごみの分別実験や照明のLED化などの取り組みについても協議を行い、さらなる省エネルギーや廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上などに向けて検討を進めています。

●環境マネジメント体制

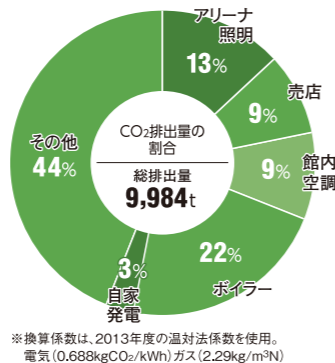


札幌ドームの環境負荷

人と自然にやさしい施設であるために、事業活動による環境負荷を正しく把握し、よりよい環境づくりに向けた取り組みを進めています。

●札幌ドームの主な環境負荷(2013年度)

INPUT		OUTPUT	CO ₂ 排出量
電気	購入電力	10,840千kWh	アリーナ照明(電気) 1,280t
	自家発電	464千kWh ※ガスによる発電および太陽光発電	売店(電気・ガス) 874t
ガス	1,111千m ³	ボイラー(ガス)	2,229t
		自家発電(ガス)	261t
ガソリン・灯油		その他(電気) ・給湯・大型可動物/大型映像設備 ・給排水ポンプ・昇降機 ・芝管理機材・投光機など	4,405t
		合計	9,984t

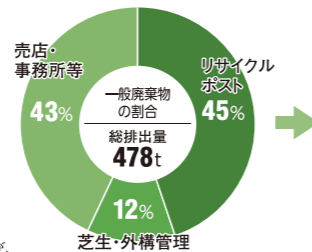


自家発電の電力をイベント時に使用

電力使用のピークカット(最大需要の抑制)を目的とした天然ガスエンジンの常用発電機が設置されており、開業以来、イベント時に使用する電力の一部(約15%)を補っています。

水		下水
上水	33千m ³	90千m ³
井水	73千m ³	

一般廃棄物	排出量
リサイクルポスト(分別ごみ箱)	212t
売店・事務所等	207t
芝生・外構管理	59t
合計	478t



リサイクル	49%
非リサイクル	51%

※イベント運営等に係る廃棄物は、原則お持ち帰りをいたしておりますが、一部イベントスタッフの弁当等のごみは「リサイクルポスト」に含めています。
※リサイクルポストに廃棄いただいたカップのフタとストローの一部は「売店・事務所等」に含めています。

環境への取り組みを公開

札幌ドームの環境への取り組みについては、ウェブサイトやCSRレポートなどを通して広く公開しています。札幌市が市内の事業者の環境報告書を展示・紹介する「環境報告書展」にも毎年出展しています。



●環境報告書展 ●ウェブサイト ●CSRレポート

②低炭素社会に向けた取り組み **省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします**

お客さまの安全性や快適性を保ちながら省エネルギーを推進し、CO₂排出量削減を図るため、環境にやさしい設備の活用や運用方法の改善などに積極的に取り組んでいます。

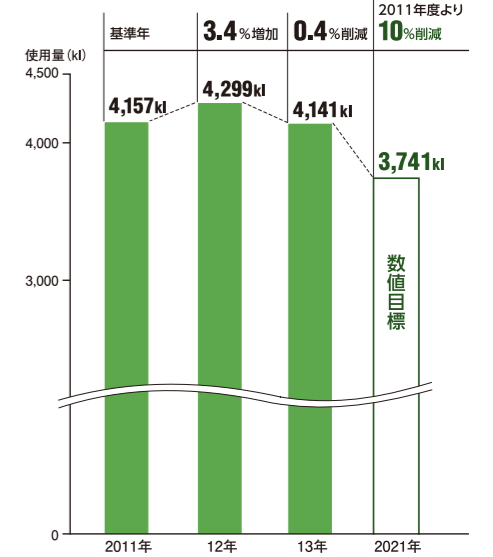
[数値目標] ■エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

省エネ型の設備を積極的に活用しています

CO₂排出量を削減するために、2007年より省エネルギー型の空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」などを導入。省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進めることで、省エネルギーを推進しています。2014年3月には貫流ボイラーを省エネ効果のある製品に更新しました。



●エネルギー使用量(原油換算)の推移



電気自動車を導入

主に敷地内での荷物運搬や移動に使用する車両の更新にあたって、電気自動車を導入。エネルギーやCO₂削減、有害微粒子を排出しない環境負荷の少ないタイプの車両を選び、環境に配慮しました。

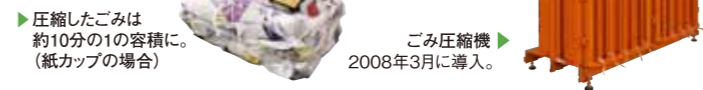


札幌市環境局省エネ支援事業による設備運用の改善を進めています

札幌市環境局による市有施設に対する省エネ支援事業の対象施設として、自然換気の有効活用による空調負荷の軽減のほか、清掃による空調機器の効率改善、ロードヒーティング自動制御システムへの間欠加熱運転導入による省エネなど、設備運用の改善を進めています。

ごみを圧縮して減容化

回収したカップ、紙トレイ・弁当外箱、ペットボトルなどを圧縮して減容化することで、ごみの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減しています。



省エネを考へて照明モードを緻密に制御

イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用形態に応じて照明モードを制御し、省エネを推進。プロ野球終了後のグラウンド整備時の照明モードを2009年より見直し、プロ野球開催時の電力消費量を約5%削減しています。



札幌市の太陽光発電事業に協力しています

札幌市は、CO₂排出量の削減のために太陽光発電の導入を進める「札幌・サンサンプロジェクト」を実施しています。2011年3月より札幌ドームの敷地内にも全長326mにわたり太陽光パネル432枚が設置されています。2013年度の太陽光発電量は61,166kWhとなりました。



札幌ドームの廃食用油を活用した燃料によるカーボンオフセット

飲食売店などから排出される廃食用油で製造したバイオディーゼル燃料を廃棄物収集運搬の車両に使用することで、カーボンオフセットによるCO₂排出削減を行っています。



広報誌の印刷にグリーン電力を利用

札幌ドームが発行する広報誌「イベントニュース」などの印刷に、環境負荷が少ない風力発電によるグリーン電力を利用し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



環境に配慮した設計を活用した運営を心がけています

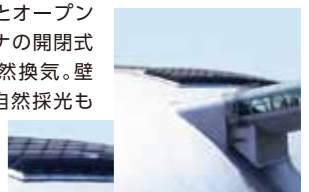
スタンド席の局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要になるため、スタンド席の足元から冷・温風が吹き出す座席周辺に絞った局所空調を実施。さらに、スタンド全体の空調ゾーニングによる観客数に応じた冷暖房で、省エネルギーを図っています。



自然換気・自然採光を利用

天井の開閉式パネルとオープンアリーナ・屋内アリーナの開閉式扉開口部の操作で自然換気。壁のガラス面や天窓の自然採光も活用し、エネルギー消費を抑えています。



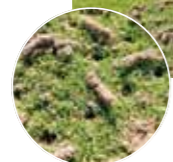
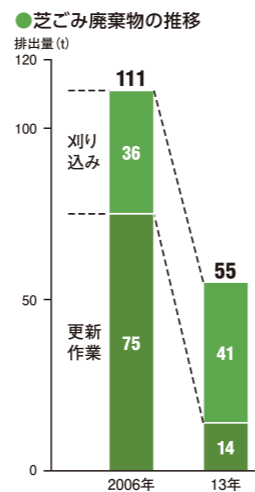
③循環型社会に向けた取り組み 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

お客さまにも理解と協力をいただきながら、主催者さま、委託事業者さまとともに廃棄物の削減やごみ分別などに取り組み、リサイクルの推進を図っています。

[数値目標] ■廃棄ごみを2011年度より30%削減します ■リサイクル率を60%以上にします

芝生の更新作業で発生する芝ごみの分別によって廃棄物を大幅に削減

天然芝サッカーグラウンド(2面)の芝の更新作業として、地面が固くなると空気の通り道がなくなって根が呼吸しづらくなるため、芝生に穴を空けるコアリングを行います。この作業で大量に発生する芝・根と砂が混じった芝ごみは、2007年秋からスタッフが分別。芝・根だけを焼却ごみとし、砂はサッカーグラウンドのメンテナンスに再利用することで、廃棄物の量を大幅に削減しています。



●コアリング 良質な芝の育成には欠かせない作業で、札幌ドームでは年2回程度実施

2006年度までは、埋め立てごみとして廃棄していましたが、芝・根と砂を分別することで、一般ごみとして廃棄することが可能となりました。

売店や事務所などから排出される事業系ごみも分別回収を実施

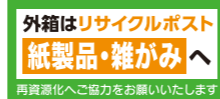
当社社員が事務所内などでごみの細かな分別回収に取り組んでいるほかに、主催者さま、委託事業者さまにご協力いただき、売店などから出る事業系ごみの分別回収を進めています。



●分別ステッカー

お弁当容器にリサイクルシールを貼付

ごみの分別回収の周知を進めるため、販売しているお弁当容器にリサイクルシールを貼っています。シールを通して、リサイクルへの協力を呼びかけています。



持ち帰りできるエコカップを販売

北海道日本ハムファイターズ戦での屋外イベント開催時に、オリジナルデザインのエコカップでビールとソフトドリンクを販売。使用後は持ち帰って再利用していただくことができます。



外構作業による廃棄物のリサイクルを推進しています

枝打ちなどの作業で発生した剪定枝や、十分に生長した木から外した添え木などは、まとめてリサイクル施設に運搬。植栽チップなどに生まれ変わり再利用されています。



ウェブサイトの活用で印刷物を削減

ウェブサイトを積極的・効果的に活用することによって、広報誌などの印刷物の見直しを行い、紙の消費量の削減を図っています。

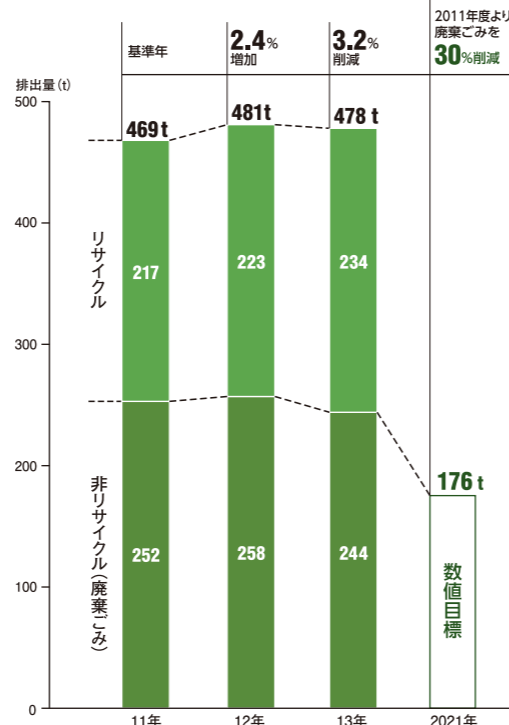


売店のレジ袋削減を進めています

2007年2月より原則としてレジ袋をお渡しせず、必要なお客さまにのみお渡しすることでレジ袋削減を進めています。

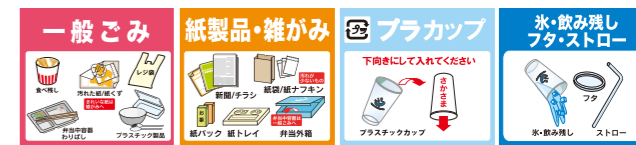


●一般廃棄物の排出量の推移



お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組んでいます

札幌ドームは、お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組み、分別回収を行ってリサイクルを推進しています。2014年3月からは、冷飲料販売用の紙カップを廃止してプラスチックカップに変更し、「プラカップ」専用回収箱を設置。回収したプラカップは、固形燃料としてリサイクルされています。



●札幌ドーム「リサイクルポスト」
上記の4種類にごみを分別回収するため各所に設置。イベント時は分別を案内するスタッフを配置するほか、主催者さまのご協力により大型ビジョンを使ってお客さまに分別を呼びかけています。



●リサイクルの流れ

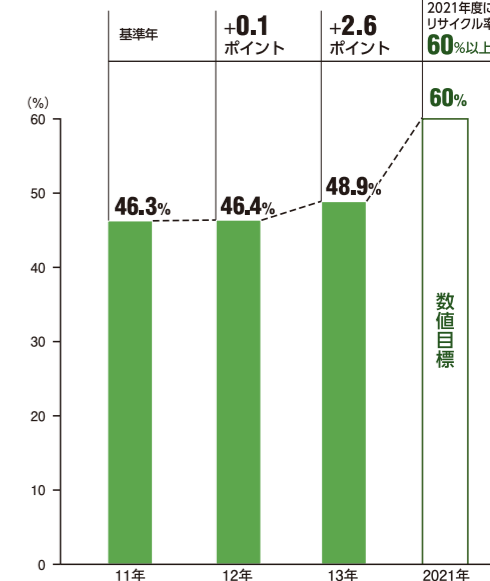


●リサイクル項目

品目	2006年		2014年	リサイクル品目
	2006年	2014年	2014年	
古紙	新聞・OA紙・チラシ・雑誌			再生紙
	ダンボール			ダンボール・中芯
	弁当外箱・紙トレイ・雑がみ類			トイレ用ペーパー
	2007年から分別開始	紙カップ		
飲料容器	2008年から分別開始	シュレッダーくず		
	2010年から分別開始	紙パック		
		ビン		再利用・カレット*等
		缶		缶・鋼材
その他		ペットボトル		繊維・ペットボトル
		一斗缶		缶・鋼材
	2009年から分別開始	酒類ビン		カレット*等
	2014年から分別開始	プラカップ		固形燃料
その他	2008年から分別開始	資源化ごみ		固形燃料
	2009年から分別開始	生ごみ		堆肥・飼料
		剪定枝		植栽チップ

*ガラスビンの原料

●リサイクル率の推移



④生物多様性の保全と環境啓発活動の推進 **緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます**

周囲の環境や生態系に配慮しながら敷地の維持管理を行うとともに、札幌ドームの環境への取り組みについて子どもたちをはじめ多くの方々に知っていただく活動を幅広く展開しています。

[数値目標] ■30種以上の鳥が訪れる環境を維持します ■環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

エコロジカルプランニングに基づいた緑豊かな「スポーツの庭」を実現

白旗山から連続する豊かな自然を背景とした農耕地と、商業・住宅地が群を成す都市の境界に位置する広大な敷地が、ガードニング(庭造り)の手法で農耕地から都市を緩やかにつなぐ「スポーツの庭」に生まれ変わり、札幌ドームが誕生。以来、生態系に配慮した敷地の維持管理に取り組んでいます。

●建設前



●2010年



札幌ドーム建設に先立ち、食物連鎖の上位に位置する「鳥」の視点から、建設予定地を含む周辺地域の生態系を分析。鳥が暮らしやすい環境づくりを基調として、森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入しました。建設前よりも豊かな生態系を築くことを目指したこのエコロジカルプランニングにより、緑と生き物を育む下地が整えられました。



「スポーツの庭」を守るために適切な維持管理を行っています

緑や生き物たちを守り、「スポーツの庭」を維持しながら、景観の美しさとお客さまの安全性を確保するために、散策路などの草地の刈り込み、植栽の剪定や冬囲いなどを適切な時期に実施しています。



鳥が暮らす環境を守るため巣箱やバードセーバーを設置

札幌ドーム敷地内には多くの鳥たちが暮らしており、その環境を守っていくために地域の子どもたちが作製した巣箱を各所に設置。また、鳥が衝突するバードストライクを防ぐため、西棟ガラス面にバードセーバー(105m)を設置しています。



展望台見学および環境啓発事業を実施

札幌ドーム近隣の小学5年生を招待し、展望台の見学を通して環境や地域について考える機会を提供する事業を実施。当社社員による環境学習も行いました。



展望台から自分たちの住む地域を眺めてもらい、その後スタンド席に移動し、札幌ドームの環境への取り組みについて説明しました。

「社員エコ行動」に取り組んでいます

離席時のパソコンディスプレイ電源オフによる節電の徹底など、社員一人ひとりが意識を高めるため、エコ行動を列記したチェックシートを活用し、定期的に達成度合いを確認することで「社員エコ行動」を推進しています。また、社員による敷地内および周辺道路の清掃活動も実施しました。



- エコバッグ利用
- グリーン購入の推進
- クールビズ・ウォームビズの推進
- 節電の徹底
- ごみ分別の徹底
- 公共交通機関利用の推進
- マイカップ・マイ箸利用の推進
- コピー用紙・印刷用紙の削減
- リサイクル事務用品の積極利用

ノー残業デーを実施

2010年12月より、毎月1回「ノー残業デー」を実施。全社員が定時で退社することで、事務所内の省エネルギーを図っています。

「Kids' ISO 14000プログラム」に協賛しました

2010年より、北海道と国際芸術技術協力機構が共同で実施している「Kids' ISO14000プログラム」に協賛し、全道各地の小中学生の環境意識向上に協力しています。



※「Kids' ISO 14000プログラム」は、国際芸術技術協力機構(ArTech)が開発し、国連機関、国際機関と一緒に、国内、国際的に展開している環境教育プログラムです。

環境に関する情報を広く発信

自主イベントの開催時など、さまざまな機会を活用して環境啓発活動を積極的に展開。ドームツアーの中でもリサイクルの取り組みなどをお客さまに紹介し、札幌ドームの環境への取り組みについて発信しています。



●環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業(半地下構造、自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 通年営業店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力を採用(以降、2009年度まで実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事(「エコキュート」導入)
- 3 リサイクルポストをリニューアルし、紙トレイ・弁当外箱も含め、より分別しやすいデザインに変更
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 ドームツアー・展望台スタッフユニフォームを「マテリアルリサイクルマーク」認定素材に切り替え
- 9 第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社員エコ行動」の推進開始
- 8 酒類ビンの分別回収を開始
- 11 剪定枝の分別回収を開始
- 11 北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
- 2010. 3 コンコースおよび南北連絡通路の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑がみ分別の開始
- 4 Kids' ISO 14000プログラムに協賛(以降、毎年継続)
- 8 エコポイントを活用し、環境寄付を実施
- 11 ペリメーターヒーターインバーター化工事
- 12 ノー残業デー(毎月1回)の開始
- 12 環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいしよう」開催
- 2011. 3 札幌ドーム太陽光発電設備設置
- 3 屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
- 3 「エコ弁当」を企画
- 3 2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
- 10 第6回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース出展
- 2012. 2 トイレ照明人感センサー化工事
- 3 トイレ手洗い・トレーニングルームシャワーに節水金物を設置
- 7 第4回さっぽろ環境賞(循環型社会形成部門)において「優秀賞」を受賞
- 9 環境啓発企画「札幌ドーム巣箱づくり体験教室」を開催
- 10 第7回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース出展
- 11 札幌ドーム西棟ガラス面にバードセーバーを設置
- 11 札幌ドーム展望台ガラスの遮熱コーティング工事
- 12 平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞において「大賞」を受賞
- 2013. 3 新環境目標「ECO MOTION 2021」を策定
- 6 「札幌ドーム展望台見学および環境啓発事業」を開始
- 10 「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」を受賞
- 2014. 3 飲料用カップにプラスチック製品を導入し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
- 3 貴流ボイラーを省エネ製品に更新

循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰を受賞

ごみの分別回収などお客さまと協同した資源循環の実現について評価を受け、「平成25年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞。2013年10月に行われた「第8回3R推進全国大会」で表彰状を授与されました。



●会社概要

商号 株式会社札幌ドーム
 所在地 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
 代表者 代表取締役社長 長沼 修
 設立 1998年10月1日
 資本金 10億円
 売上高 33億1,588万円(2014年3月期)
 社員数 67名(2014年6月現在)
 事業内容 札幌ドームの管理運営業務全般

〔地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく札幌ドーム指定管理者〕

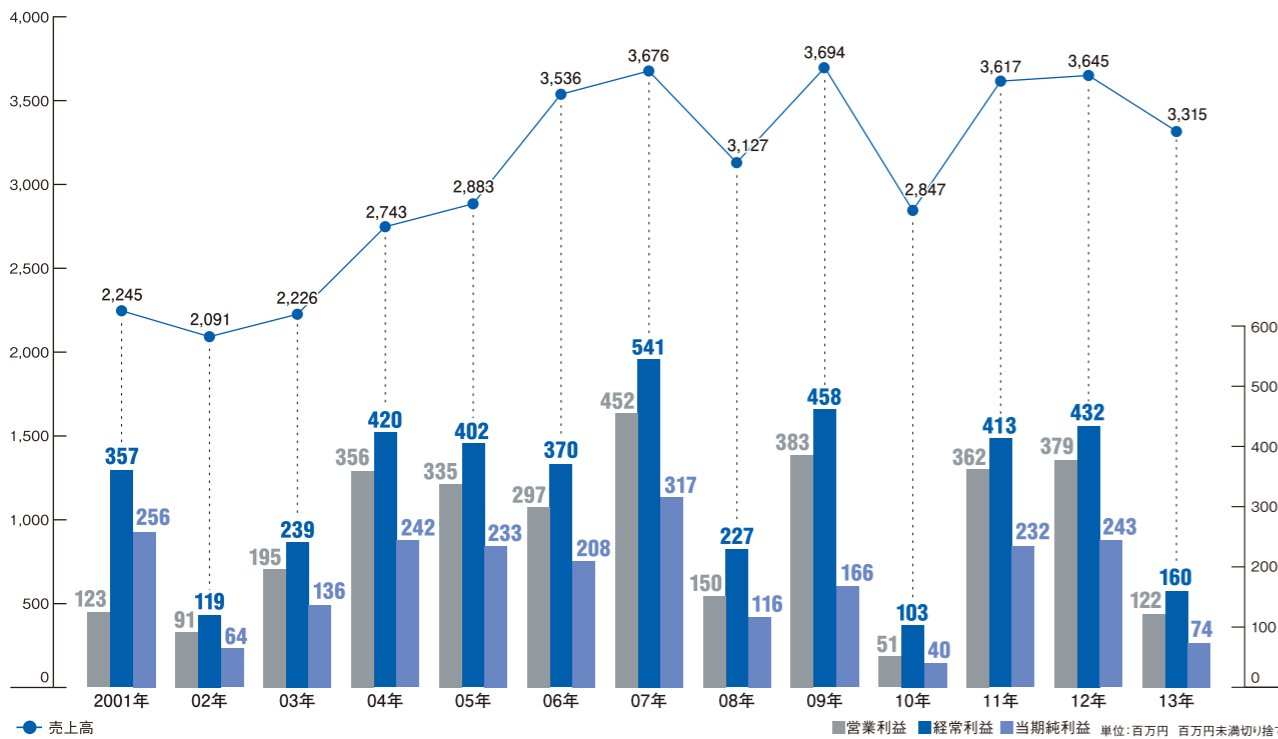
1. 貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポート)
2. 商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営)
3. 観光事業(ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営)
4. 市民利用事業(草野球、サッカー練習場およびトレーニング室の一般市民利用管理)
5. 広告事業(ドーム内広告看板の販売管理)
6. 駐車場事業(ドーム駐車場の管理運営)
7. チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)

株主 札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本-北海道、エヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)、北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、(株)JTB北海道、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

●札幌ドームの歩み

1993. 1	2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
1996. 1	札幌市、ドーム化を決定
5	2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
1998. 6	着工
10	株式会社札幌ドーム設立
1999. 10	札幌ドーム条例制定
2001. 5	竣工
6	開業(6/2)
9	来場者100万人突破
2002. 3	日本ハムファイターズ フランチャイズ移転計画「北海道新聞」紙面で公に
6	2002FIFAワールドカップ™大会開催
7	日本ハムファイターズ、フランチャイズ移転正式決定
10	トレーニングルーム オープン
12	「J1ベストピッチ賞」受賞
2003. 10	札幌ドーム敷地内に、フランチャイズ事務所棟完成
2004. 3	北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
11	「札幌ドームMVP賞」創設
2005. 3	人工芝更新
2006. 3	来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
4	指定管理者制度導入
5	こどものひろば「キッズパーク」オープン
6	開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
10	北海道日本ハムファイターズ 日本シリーズ優勝
2007. 2	FIS ノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
10	来場者1,500万人突破
2008. 10	2008FIA世界ラリー選手権 第14戦 バイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
2009. 3	プレイヤーズビューシート設置
8	来場者2,000万人突破
2010. 9	2010FIA世界ラリー選手権 第10戦 ラリージャパン開催
2011. 6	開業10周年、来場者2,500万人突破
7	北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム開催
2012. 2	札幌モーターショー2012開催
2013. 1	来場者3,000万人突破
2	人工芝更新(2回目)
6	来場者数3,000万人を記念し、「感謝の森」を造成
2014. 2	札幌モーターショー2014開催
3	「グッズ☆ジャム」拡張リニューアルオープン

●業績の推移

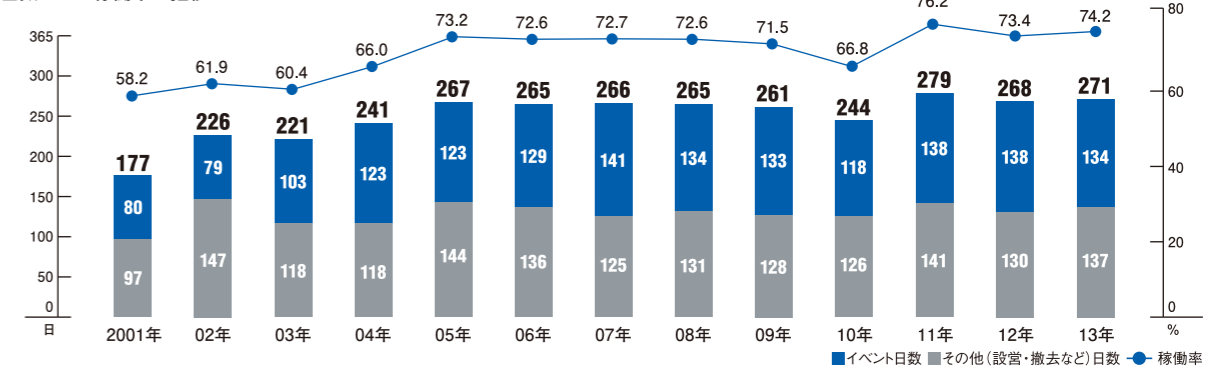


●2013年度イベント開催実績

4月	5(金)~7(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
	14(日)	コンサドーレ札幌 vs 徳島ヴォルティス
	16(火)~18(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
	19(金)~21(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
	27(土)~29(月・祝)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
5月	3(金・祝)	コンサドーレ札幌 vs 京都サンガF.C.
	5(日・祝)	東方神起 LIVE TOUR 2013 ~TIME~
	8(水)・9(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
	19(日)・20(月)	北海道日本ハムファイターズ vs 読売ジャイアンツ
	22(水)・23(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 東京ヤクルトスワローズ
	25(土)・26(日)	春の祭典 USS札幌 スーパー中古車市 in 札幌ドーム
	31(金)・1(土)	北海道日本ハムファイターズ vs 中日ドラゴンズ
6月	12(水)・13(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 阪神タイガース
	15(土)・16(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 広島東洋カープ
	22(土)・23(日)	EXILE LIVE TOUR 2013 EXILE PRIDE
	28(金)~30(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
7月	5(金)~7(日)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
	12(金)~14(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
	15(月・祝)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
	19(金)	マツダオールスターゲーム2013
	21(日)	北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム2013
	27(土)	コンサドーレ札幌 vs ガイナーレ鳥取
	31(水)	AKB48・2013真夏のドームツアー~まだまだ、やらなきゃいけないことがある~
8月	2(金)~4(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
	5(月)	第35回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
	7(水)~10(土)	2013 FIGHTERSジュニア王座決定戦
	9(金)~11(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
	12(月)~15(木)	第55回JABA北海道大会
	16(金)~18(日)	集会イベント
	24(土)	B'z LIVE-GYM Pleasure 2013 -ENDLESS SUMMER-
	27(火)~29(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
9月	1(日)	JFAキッズサッカーフェスティバル2013 ユニクロサッカーキッズ in 札幌ドーム
	7(土)・8(日)	ヤマダ電機 家電フェア2013&大処分蚤の市 in 札幌ドーム
	10(火)~12(木)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
	15(日)	秋のスポーツバイク&とよひらRunフェスタ
	16(月・祝)	札幌ドーム大捜査線~ドームに囚われたB・Bとポリーを救出せよ~

9月	17(火)・18(水)	札幌6大学野球 秋季リーグ戦
	21(土)~23(月・祝)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
	24(火)~26(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
10月	1(火)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
	2(水)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
	4(金)・5(土)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
	6(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
	20(日)	コンサドーレ札幌 vs モンテディオ山形
11月	3(日・祝)	コンサドーレ札幌 vs ジェフユナイテッド千葉
	10(日)	コンサドーレ札幌 vs ヴィッセル神戸
	15(金)~17(日)	ARASHI Live Tour 2013 "LOVE"
	23(土・祝)	北海道日本ハムファイターズ ファンフェスティバル2013
	24(日)	コンサドーレ札幌 vs ギラヴァンツ北九州
	27(水)・28(木)	CM収録(非公開)
12月	2(月)	番組収録(非公開)
	7(土)	第19回「赤い羽根」ティールボール北の甲子園大会 北海道知事Cup
	8(日)	マイナビ就職EXPO
	14(土)	関ジャニ∞ LIVE TOUR JUKE BOX
	25(水)	リクナビ SUPER LIVE 札幌
	27(金)~29(日)	NPB12球団 ジュニアトーナメント ENEOS CUP 2013
1月	4(土)	BIGBANG JAPAN DOME TOUR 2013~2014
	10(金)~13(月・祝)	ふわふわアドベンチャー in 札幌ドーム
	16(木)	札幌ドーム体験教室 わくわくサッカー教室
	17(金)~19(日)	コンサドーレ札幌2014 第14回全道市町村サッカーフェスティバル
	22(水)	CM収録(非公開)
	26(日)	その他イベント
2月	2(日)	第34回札幌国際スキーマラソン大会
	14(金)~16(日)	札幌モーターショー2014
	22(土)・23(日)	第18回トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム
3月	4(火)・5(水)	オープン戦 北海道日本ハムファイターズ vs 読売ジャイアンツ
	9(日)	コンサドーレ札幌 vs モンテディオ山形
	11(火)~13(木)	オープン戦 北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
	14(金)	北海道日本ハムファイターズ「逆襲の開幕トクバトル」
	15(土)・16(日)	オープン戦 北海道日本ハムファイターズ vs 中日ドラゴンズ
	22(土)	コンサドーレ札幌 vs ギラヴァンツ北九州
	28(金)~30(日)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ

●利用日数および稼働率の推移



●来場者数の推移

